



琉球・亜熱帯建築の周辺

かぬち

kanuchi

No.20 2016
May



Architect of OKINAWA
公益社団法人日本建築家協会沖縄支部

CONTENTS

1	支部長挨拶	1
2	JIA 沖縄支部 沖縄未来建築塾	2
3	リレーエッセイ「建築家をめざして」	3～11
4	2015年度(第19回)通常総会・講話・建築懇親会	12～13
5	建築家大会2015金沢「みんな力」 ^{ひょく} —ともに在る社会へ—	14～15
6	沖縄から東南アジアへ 沖縄県建設産業グローバル化推進事業への取組	16
7	JIAフレッシュマンセミナー・神戸2015 フレッシュマンセミナー研修報告	17
8	JIA 沖縄支部 国際交流事業 2015年度 香港マカオ研修報告書	18～19
9	琉球浪漫2016 沖縄建築展	20～23
10	JIA沖縄支部 第19回卒業設計作品選奨	24～30
11	2015年度 JIAリフレッシュセミナーに参加して	31
12	JIA沖縄支部 新規会員紹介	32～33
13	支部会員名簿	34～37
14	ジュニア会員及び法人協力会員名簿	37～39

支部長挨拶

公益社団法人
日本建築家協会
沖縄支部 支部長
當間 卓



日頃より(公社)日本建築家協会沖縄支部の活動に、ご理解とご協力を賜り感謝を申し上げます。特に協力会員の皆さまには「2016 沖縄建築展」や「卒業制作選奨」に多大なご支援を頂き誠にありがとうございました。

2015年6月に新支部長の拝命を受け、役員若返りを図り、新しい事業活動と新しいリーダーとしての組織運営に明確なテーマをもって取組んだ一年となりました。

2015～16年度のテーマは「若手建築家の人材育成」と「将来展開としての国際交流」です。若手とはすでに建築に携わっている若手設計者や大学生はもとより、5年、10年後に建築家を目指すであろう小中高生も対象としています。去る3月に支部活動の総括となる建築展が「2015 琉球浪漫 ケンチクカってなあに」をテーマに開催されました。テーマにあるように小中学生を対象にした「こどもけんちくワークショップ」では、紙管を組合せ大きな空間を会場に造ることで、つくる喜び、自由な発想、豊かな創造の楽しさを子供たちに感じていただきました。また、JIA沖縄支部の認定プログラム、クイズ形式の「こども建築家になろう!」では、沖縄に由来する建築基礎知識を出題し、子供たちに答えてもらうことで建築家という職業を子供たちに知ってもらい、自分の街にある建築や風景を意識するきっかけとなればと考えています。全問正解すると「登録おきなわこども建築家(ROKAs ロカス)」認定カードを発行します。今回は117人のこども建築家が誕生しました。その他、第19回を迎えた卒業設計作品選奨の公開審査・発表では大学生、専修学校生、工業高校生の作品を評価し、将来の建築家を志す彼らの背中を押しあげました。

また、建築文化講演会では若手建築家として活躍中の「永山祐子氏に「建築というきっかけ」をテーマに話していただき、いつも見ている風景の中に新しさを見出す視点、発想力の大切さや女性として、幼い子を持つ母親としての日々の葛藤やどんな環境にいても効率的に考える前向きな姿勢は、会場の若者たちに力強い勇気と刺激を与えたことでしょう。

2016年6月より、我々が数ヶ月掛けて練ってきた若手設計者育成プログラム「沖縄未来建築塾」が開塾します。塾生はU-40の若手を対象としていますが、オブザーバー参加も可能です。年8回の勉強会は県内外より建築家や建築評論家、様々な分野の作家を招聘しての講和形式のものやワークショップ、視察などを取り入れながら1年間で建築家としての職能について学んでもらいます。この事業はJIA本部の「事業活動助成制度」の採択を受け継続した事業とすることにより多くの若者が建築家として巣立ことを期待しています。

今年度の国際交流事業は2/24～28の5日間、香港建築家協会(HKIA)との交流を行いました。今年で4回目の国際交流ですが、JIAが世界と繋がっていることを実感する事業です。支部国際交流委員会が中心となり、JIA本部国際交流委員長の紹介を受け、香港の大学・珠海学院と日程調整、情報交換を行いながらHKIA新春レセプション参加、HKIA会員事務所での最新プロジェクトのレクチャーや現場視察、新旧香港街並みのフィールドワーク、沖縄建築文化のレクチャーなど密度の濃い交流となりました。

また、沖縄県の助成を受けた「沖縄建設産業グローバル化推進事業」も最終年度を迎え、ベトナム・ハノイでの最終プレゼンテーションを実施し、3年間の継続事業が終了しました。近い将来、我々の培ったノウハウが東南アジアへ進出する際の大きなパイプとなることを期待します。その他、若手の登竜門として定着した県主催のU-40コンペや第2回目を迎える「沖縄建築賞」についても支部を挙げて取組んでいきます。

今年度も建築家をめざす若者が育ち、建築界が益々活気づいていくと同時に、沖縄の建築家が豊かで魅力的な街づくりに貢献することで、職能として社会的に信頼される土となるよう活動を続けま

| JIA 沖縄支部 |

沖縄未来建築塾

公益社団法人 日本建築家協会 (JIA) 沖縄支部主催

沖縄未来建築塾開講

2016テーマ 「ケンチクカ」ってなあーに？

詳しくは公益社団法人日本建築家協会(JIA)会沖縄支部ホームページ内
「沖縄未来建築塾」募集要項をご確認下さい。



沖縄未来建築塾

第一回沖縄未来建築塾『おとなフィールド』

平成28年6月末スタート

講座内容：建築・ものづくりを学べる場

沖縄の固有の文化・社会・自然科学等、建築という媒介を通すことでの新たな発見、深まる認識を目的とし、設計専門職のみならず、建築関係のすべての職種、学生を対象とした塾です。全8回(年間)の講座を予定しており、沖縄で活躍する地元建築家をはじめ、国内外からも魅力的な講師をお招きし、沖縄の未来を考えながら、建築について学べる場をつくります。

登録申込：日本建築家協会沖縄支部HP内登録用紙に必要事項記載の上、指定口座へ受講料(¥20,000-税込み)を納付下さい。(各講座CPD単位取得予定)
<http://www.jia-okinawa.org/>

第一回沖縄未来建築塾ワークショップ

『こどもフィールド』

入場参加費無料

平成28年8月中開催予定



公益社団法人 日本建築家協会(JIA)沖縄支部 事務局
〒901-2101 沖縄県浦添市西原1丁目4番26号沖縄建築会館内
TEL098-943-8949 FAX098-943-9727 info@jia-okinawa.org

| リレーエッセイ |

建築家をめざして

副支部長 久高 多美子

2014年に建設新聞に連載させていただきました
会員のリレーエッセイ「建築家をめざして」の
後半の部をご紹介します。

今期の琉球浪漫2016 沖縄建築展のテーマでもあります、
「ケンチクカ」ってなぁ〜に！の答えが、
まさしくエッセイの中に込められているような気がします。
改めて建築力に乾杯。



1	慶佐次操	(有)名工企画設計
2	山城東雄	(株)東設計工房
3	運天勲	(株)渡久山設計
4	金城善治	(株)プラットホーム沖縄支店
5	松山喜治	(株)国建
6	金城司	(有)門一級建築士事務所
7	當間卓	(株)泉設計
8	本庄正之	(有)アトリエ NOA
9	仲間郁代	仲間郁代建築設計事務所
10	金城傑	(有)K・でざいん
11	金城優	(有)門
12	伊良波朝義	(有)義空間設計工房
13	西里幸二	一級建築士事務所 西設計
14	藤元節男	※事務所開設準備中(3/6 確認)
15	前田慎	ポイントウォーカーデザイン
16	伊志嶺敏子	伊志嶺敏子一級建築士事務所
17	宮平隆雄	(株)宮平設計
18	比嘉伝英	美音Space Design (株)
19	大嶺亮	ファイブデイメーション
20	久高多美子	(株)東設計工房
21	島田潤	(株)デザインネットワーク
22	知念信正	新環境株式会社
23	下地鉄郎	(株)クロトン
24	池間守	(株)エーアールジー
25	永山盛孝	団設計工房
26	長谷部廣	(有)長谷部建築研究所
27	美農祐央	一級建築士事務所 tin architects
28	武岡光明	一級建築士事務所 T・武岡建築設計室
29	小林文雄	(株)ワールド設計
30	根路銘剛次	(株)根路銘設計
31	島袋勝也	建築設計工房 p a r a y a
32	上江田正	(有)GA2 設計
33	城間俊	(株)具志堅建築設計事務所
34	立津秀樹	(有)プラネット一級建築士事務所
35	運天浩	(有)名工企画設計
36	久田友一	久友設計(株)

建築家をめざして No.21

公益社団法人 日本建築家協会 沖縄支部長

自然抜きで語れない建築 島田 潤 デザインネット

1964年の秋、東京
オリピックが開催され
た。
開会式の前に各競技場
が空撮で紹介され、懸垂
曲線が緩やかにカーブを
描きダイナミックで美し
い貝を思わせる代々木体
育館がテレビに映し出さ
れた。小学校から帰って
きたばかりのボクの目は、
画面に釘付けになる。
「スゴイ!! カッコイ!!」
その瞬間に、ボクの将来
は決まった。
小学6年生の男の子を
夢中にさせるほどの建

築は魅力的なものだった。
建築がシンボリックで力
強く、日本が元気で夢の
ある時代だった。それか
らは、何の迷いもなく大
学の建築学
科を目指し
卒業後は大
学の先生を
している建
築家のアト
リエに就職
した。その
頃事務所は、パキス
タンの山奥
に建つリゾ
トホテルの
基本設計を
していた。
最初の仕事
は、現地の
建築家から
送られてく
る手紙の和
訳だった。
月曜日から
事務所泊
まり込み、
土曜日の最
終電車帰る生活が半年
程続いた。それでも少し
ずつ図面を手伝える機会
が増える事が嬉しかった。

その瞬間にボクの将来は決まった

限られた地球
の資源を有効に
使うには、メガ
ストアチューア
の空中都市で高
密度に効率よく
暮らし、地表は
農場や自然保全
をするというS
F的なドローイ
ングに魅せられ
た。
翌年、リュック
を担いでパオ
ロ・ソレリの主



アルコサントの現場で

その後、担当した仕事か
らは、正確な情報をクラ
イアントや施工者に伝え
る為の面の重要さ、現
場監理での施工担当者との
やり取り、現場での納
整など建築が完成するま
では、膨大な作業とエ
ネルギーが必要な事を
身をもって学んだ。
4年が経ち、計画から
竣工までのひと通りの流
れが理解できるようになっ
た頃、赤坂の草月会館
(設計・丹下健三)で、
建築とエコロジーの融合
を提唱する建築家パオロ・
ソレリの講演を聞いた。

今年9月に2020年
のオリピック開催地が
決まる。
東京に決まったら、サ
ハ・ハデイドのデザイン
による新国立競技場を顧
みて建築家を目指す子供が
いるかもしれない。

建築家をめざして No.22

公益社団法人 日本建築家協会 沖縄支部 会員

一人だけの施設係 知念 信正 新環境組

私は1972年の本土
復帰の年に、具志川市教
育委員会に採用され、教
育施設の計画・建築・保
全を担当した。当時、施
設係は私一人でもこな
した。
日々の仕事の大半は、
学校・幼稚園の修繕工事。
少ない修繕費の中、現場
確認、学校側との調整、
優先順位などの判定、工
事の指示等々。
国(当時)は文部省の
補助事業について県との
事務調整、市長部局の財
政課との予算調整には、
深夜まで付き合ひ事務手

ある年度に
は4校を全面
改築設計する
ことになり、
せめて基本設
計だけでも学
校建築の専門
家をお願いし
たいと思い、
当時の安田政
登教育長にご
相談したところ、二つ返事
でOKが出た。「君の好
きなようにやりなさい」と。
その2日後には、東京
都立大学工学部建築学科

伝いもしていた。
防衛施設庁補助による
防音事業は、かなりの高
率補助のため、ずいぶん
多くの補助金及び市の財
源を要した。
琉球政府時代
に建てられた
校舎は、ほと
んど改築対象
となり、しか
も改築事業は
95%補助で
あるため、す
べての学校を
全面改築する
ことに。
その頃、必死になって
「教育内容」を研究し、
先進事例から学び、基本
設計に活かすべく取り組
んだことが、現在の私を
つくったと思っている。
デザインは重要だが、建
物の機能はそれ以上に深
く理解し、空間に反映し
ないといけないのではな
いか。

先進事例から学び基本設計に活かす

設計者等への
オープンス
テムの啓蒙活
動はかなりま
めに進めた。
安田教育長の
肝いりで、オ
ープンシステ
ムを推進するこ
とを市教育委
員会として組
織決定した。
チームタイ
ミングを通し
て、児童生徒



オープンスクールにするため2度設計をした具志川小学校

の長倉康彦教授に面談、
状況を説明、基本設計を
お願いしたところ、快く
引き受けていただいた。
先生は日本における学校
建築の第一人者で、オ
ープンスクールを研究及び
啓発していた。先生は以
前沖縄水産高校の基本設
計を担当された経緯があっ
た。月2回のペースで具
志川市に来ていただき、
現場調査、学校側及び教
育委員会との打ち合わせ、
大変なエネルギーを注い
で頂いた。
それからは、一文字型
の校舎しか知らない県内
の学校関係者や行政職員、
PTA、地域住民、建築
設計者等への

の個々の発達段階に合わ
せ個別に教育する、一人
一人の子供たちの個性を
大事にしなから、学習活
動の支援をするための空
間として、オープンスペ
ースが必要なのだと訴え続
けた。
その頃、必死になって
「教育内容」を研究し、
先進事例から学び、基本
設計に活かすべく取り組
んだことが、現在の私を
つくったと思っている。
デザインは重要だが、建
物の機能はそれ以上に深
く理解し、空間に反映し
ないといけないのではな
いか。

建築家をめざして No.23

公益社団法人 日本建築家協会 沖縄支部

建築に夢中な自分を発見 下地 鉄郎 クロトン

「建築」あるいは「工」
を「とく」を意識
し始めたのは、中学2年
生の頃、棚や椅子の制作
をする授業中に「夢中に
なっている自分」を発見
できた頃だと思います。
進路相談などを通じて
「建築士」という職業責
任があることが分かった
のもその頃でした。

大学の専攻は迷わず建
築でした。在学中は、大
学内での教育指導のほか、
県内の設計事務所などで
勉強をさせていただき、
この業界で生きていく敵
社会に出てからは、県

しきや楽しさを知るこ
がで、感謝しておりま
す。また、日本各地の建
造物を見て歩くために
アルバイト代
が貯まれば旅
に出ています
、特に京都
へは学生時代
に5回は行っ
たのではない
かと思えます。
進路を選択
する際、奨学
金を長く受け
ていましたの
で、設計業界
への就職には
金銭的に少し
不安なところ
が実はありま
したが、先輩
の建築家の方
に相談し、い
ろいろと貴重
な助言をいた
だきまして、
悩んだ末に
「やはりこの
仕事しかない。この仕事
を通して成長していこう
と決意したことを覚えて
います。

学び続け経験し続けること

内県外とくつかの設計
事務所を動かしていただ
き、また経験を重ねたく
て開発会社や家具内装の
仕事も経験させていただ
き、フリーの時期を経て
弟と一緒に浦添で事務所
登録しました。

その後は、事務所の運
営手法も含め数限りない
試行錯誤を繰り返しながら、
今に至ります。当初
からの姿勢として心掛け
ているのは、建築家とし
ての技術やマインドを高
めていくことと同時に、
クライアントの生活全般
も意識した多角的な提案
ができるように、できる
技術を少しづ
つ掘りながら
仕事の質やク
ライアントの
満足感を上げ
ていくこと
です。

旅のひとコマ「ローソンセンター(ベルリン)」



活きている仕事です。
早くうちから多くの経験
をすることをおすすめし
ます。違う職種を経験す
るのもいいですし、一人
旅に出るのもいい。特に
海外への旅は多少無理を
してもいいのでは非とも
行ってみてください。非日常
の旅空間のなかで、回転
運動する地球表面上の生
物でしかない人間の文化
形成の仕組みに驚嘆した
り、失望したり、自分自
り、奮然と立ち上がり、等
とにかく貴重な経験とな
ることと思います。

建築家をめざして No.24

公益社団法人 日本建築家協会 沖縄支部 会員

出会いと学びに感謝 池間 守 職工・アール・ジ

私の父は型枠大工の仕
事をしていました。私が中学
から高校生の時、春休み
夏休みは父が働く現場で
時々アルバイトを行い、
8時〜18時まで働いて
日当として3,000〜
3,500円が与えられ
た。仕事は、建築資材の
搬出入、型枠材・Pコン
の取り外し、釘抜き、清
掃など雑務的なもので、
体が小さくて貧弱だった
私は過酷な労働だった。
その中で、高校生の時現
場事務所に着かれていた
設計図を何気なく見させ

てもらった処、その細か
さと奇麗さに感動し、将
来は私もこのような設計
図を描いてみたいと強く
感じた事を覚えていた。
色々あったが父
の影響を受け建
築に興味を持つ
この道に進む事
になった。
東京の設計事
務所に入所した
のはバブル前の
日本全体が慌た
だしくなる頃
だった。所員
3〜4人の小さ
な事務所だった
ので、病院など
太き仕事が入っ
てくると毎日終
電間際まで仕事
し、終電を逃す
と事務所では寝袋
を使って泊まっ
ていた事を懐か
しく覚えている。
私が初めて担
当した作品は、
5階建てで1〜3階が事
務所、4階が施主さん
の娘夫婦宅、5階が施主
さん宅の貸事務所付住宅
であった。設計から模型制

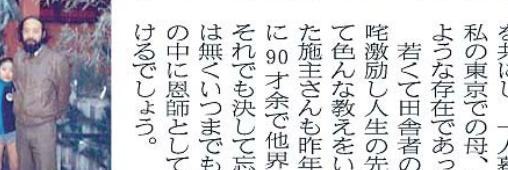
父と恩師の影響で建築の道歩む

作、工事監理、施主さん
との打合せなどを任せら
れた。その当時はバブル全
盛期で、RC造で工事費
の坪単価が百数十万円円
する時代だったこともあり、
外壁は総ラスタータイル
張り、カーテンウォール
を使うなど、ある意味時
代の波に合わせた建築
だったと思う。施主さん
はその当時70才程で、
女手一つで子供達を育て
てこられた人生経験豊富
な方であった。打合せや工
事進捗報告でお会いし
た時は仕事の話は少な
く、色んな人生論を語っ
ていただいたが、よく
話していたのが「戦争
の時沖繩が本土の防波
堤となってくれたおかげ
で今の自分達がいる」と
いう沖縄県民への感

謝の気持ちだった。また、
お酒が好きでよく酒の席
を共にし、一人暮らしの
私の東京での母、祖母の
ような存在であった。
若くて田舎者の私に叱
咤激励し人生の先輩とし
て色んな教訓をいただいた
施主さんも昨年の7月
に90才余で他界した。
それでも決して忘れる事
は無い。いつまでも私の心
の中に恩師として生き続
けるでしょう。



今でもメンテがしっかりしている初担当作品



若かりし頃～事務所のスタッフとともに～ (筆者提供)

建築家をめざして No.25

公益社団法人 日本建築家協会 沖縄支部 監査

建築家遍歴 永山 盛孝 団設計工房

60年代の日本が高度成長期に突入する時代に、まだ日本復帰をしていなかった沖縄で本土の大学への進学を目指していた。その頃は理工系に人気があり、機械、電気または建築のどれにするか迷っていた。選抜試験の願書の提出が迫っていた頃、近所に設計事務所を始め、間もないお兄さんがいて、映画「ローマの休日」

の中で、オードリー・ヘンバーンとクレイ・ベックが乗っていたものと同じ型のスクーターで毎朝出勤していた。さうそうと出かけて行くその姿が格好いいと思い、その時、建築事務所でお金が稼げるのだと思ってしまう。絵が好きだったので、お兄さんと同じく迷わず「建築学科」を願書に書き込んだ。

ある事件

このような不純な動機で建築を選んだのだが、入学後は建築の面白さが少しずつわかってくる。建築雑誌を読み、あきり、好きな建築家への遍歴が始まった。恩師から、同級生だった丹下健三が学生時代に、ル・コルビュジェの作品集をポロポロになるまで持ち歩いて話を聞いた。大学3年の夏休みに建築

学生会議主催の宿泊セミナーに参加したが、清家清、山本浩治そして磯崎新一郎が待機をいって、3日間建築漬けにされた。磯崎新一郎の講義は「丹下健三論」と「物質の不可視性」であったが、二つ目の講義の内容はよく理解できなかった。アトリエを設立して間もない頃の磯崎が、恩師丹下健三をテーマに独自の建築論を展開している

最中であつたが、突然講義が中断された。「ル・コルビュジェが只今フランスで海水浴中になつてしまつた」と巨大ニュー



ル・コルビュジェのロンシャンの礼拝堂(筆者提供)

大きなおまけに変わった。この事件の衝撃は今でも私の建築家マインドに深く居座り続け、当時のセミナーでの体験が、創作意欲に気持ちがあふれた時のカンフル剤にもなっている。

建築家をめざして No.26

公益社団法人 日本建築家協会 沖縄支部 会員

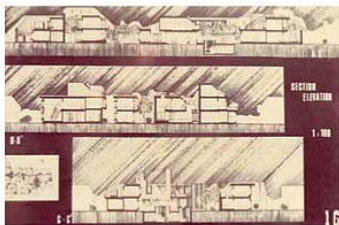
人との出会い 長谷部 廣 (前)長谷部建築研究所

中学2年生の時、「大阪万博」が開催され、購読していた月刊誌に、「大阪万博特集」が掲載されました。会場やパビリオンの写真です。それが、私と建築との出会いになりました。多感な中学生の心を揺さぶるには、充分な刺激となりました。その時初めて「建築家」を知りました。

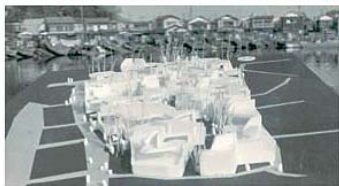
私は高校卒業後、節目で影響を受けた方々との出会いを経験しました。自分に、エネルギーを与えて頂ける、幸せな出会いでした。まず、大学2年生、「建築家」の内山勝実先生に設計、製図の授業で出会いました。先生は、私の課題に目を止めて下さり、こうおっしゃったのです。「長谷部君、建築は、セクシオン(断面図)だよ。いくらプランが良くても、セクシオンが伴っていないと、いい建物にはならないよ」と。

心揺さぶる建築の刺激

私は、初めて聞く「建物」は、セクシオン」という言葉に強い衝撃を受けました。その言葉は、今もずっと自分の基礎となり、激励し続けてくれています。卒業設計を手がけている4年生の夏、その内山先生のご紹介で、著名な「建築家」吉阪隆正先生にお目にかかりました。あのル・コルビュジェの弟子の吉阪先生です。夏の盛り



卒業設計「PROJECT・N」



に、アトリエを訪ねると上半身裸で製図板でスケッチしている先生がいました。持参した私の課題の作品を丁寧に見て下さり、激励して下さいました。その出会いが卒業後、吉阪研究室で学ぶきっかけとなりました。卒業設計は、「PROJECT・N」と名付けて、横浜野島・住宅地計画を行いました。その時のセクシオンとイメージ模型が掲載した写真です。また、大学を卒業した年、先輩から、「おじさんがRC造の住宅を建てたいから」と紹介があり、国分寺市に初めての実作の機会を与えて頂きました。オーナーは、外国駐在の長い方で、RC打放しの長い方で、RC打放し、

「建築家」の内山勝実先生に設計、製図の授業で出会いました。先生は、私の課題に目を止めて下さり、こうおっしゃったのです。「長谷部君、建築は、セクシオン(断面図)だよ。いくらプランが良くても、セクシオンが伴っていないと、いい建物にはならないよ」と。

卒業設計は、「PROJECT・N」と名付けて、横浜野島・住宅地計画を行いました。その時のセクシオンとイメージ模型が掲載した写真です。また、大学を卒業した年、先輩から、「おじさんがRC造の住宅を建てたいから」と紹介があり、国分寺市に初めての実作の機会を与えて頂きました。

私は、初めて聞く「建物」は、セクシオン」という言葉に強い衝撃を受けました。その言葉は、今もずっと自分の基礎となり、激励し続けてくれています。卒業設計を手がけている4年生の夏、その内山先生のご紹介で、著名な「建築家」吉阪隆正先生にお目にかかりました。あのル・コルビュジェの弟子の吉阪先生です。夏の盛り

建築家をめざして No.27

公益社団法人 日本建築家協会 沖縄支部 幹事
「建築の魅力」美濃 祐央 一級建築士事務所ティンアーキテクト

私が建築を志すきっかけとなったのは、将来の進路について模索していた高校1年から2年生へと向かう初春の頃、テレビをじっと見ながら多岐にわたる建築家たちを見て笑っていた際、NHKが放送した建築家・安藤忠雄さんの「光の教会」特集番組を観たことに端を発します。

それまで、国語や社会より数学、生物に興味があったことだけで、2年生へと進む段階で文系か理系かの選択に「なんとなく理系かな？」とその先の具体的な職業に対し全くイメージもありません。いまま部活動中心の高校生活を送っていました。

「光の教会」の特集に思わす釘付けになり、言い方は悪いかもしれませんが、たまたまひつと十字に光を切り取っただけの空間から示される強烈なインパクト、メッセージ性の高さ、過去に自身自身が知っていた機能主義的な建物とのあまりの差に圧倒された。その時の記憶は今でも鮮明に残っています。

そこで初めて建築という職業に興味を示すことになったのですが、建築家という人種になるためにはどのような進路を辿ればいいのか、身近なところに設計に身を投じている方がいた訳でもなく、独学で建築の道を究められた安藤さんについてレポートを手掛かりとしながら、担任の先生に「建築に進みたいと思うのですが、文系・理系のどちらを専攻すればいいのでしょうか？」と三者面談時に聞いてみたところ、「一般的には理系ではな

いか」ということで、理系を選択。と同時に勉強であった私に先生は、「それよりもっと学業に専念して欲しいですね」と一喝入れて頂きました(笑)。今でもその先生とは帰省の際、一緒に杯を酌み交わし、FB等を通じて情報のやり取りをさせて頂いています。

さて、話は戻りますが、私が大学3年夏休みのインターンシップで、安藤事務所における貴重な機会を末吉栄三先生からご紹介で得ることが出来ました。メディアを通じた一視聴者であった自身も飛び越え、安藤さんの生の肉声や所員の方々のやり取りのライブ感を攻防を肌で体感できると40日間という短期ではありますが、地下室に籠り8×8Mの淡路夢舞台の模型製作、休日には所員の方の解説付きで、あの「光の教会」や建設中の「サントリミニー

近「近」飛鳥博物館」など、実際に訪れることが出来たことは生涯の大切な思い出です。大学院卒業後、福村俊治さんの主宰されるチームドリームに所属し、社会人としての第一歩を踏み出しました。その生活を介し、自身の認識の甘さと現実の厳しさを思い知らされ、幾度となく挫折を味わいましたが、その経験こそが現在の私を支える根っこになっています。

偶然チャンネルを合わせたテレビ番組の情報がきっかけとなり、建築家を志し、その後、様々な方のお力を拝借して多くの経験を重ね、人とのつながりを得ながら、少しずつ建築の道を進むことができています。ここに不思議な感情を抱く同時に、これからも感謝の気持ちを忘れず精進していきたいと思えます。



光の教会

人とのつながりの大切さ

建築家をめざして No.28

公益社団法人 日本建築家協会 沖縄支部 会員
「出来ることの喜びを忘れずに」武岡 光明 T・武岡建築設計室

設計士を志して最初就職したのは、東京の水族館など海水を扱う設備機器の設計業務がメインの事務所でした。私の業務は設備の設計ではなく水族館や水産試験場など水を中心とした施設の設計を行っていました。しかしながら、企画業務が多く実施設計業務まで進まず、ほとんど実現することはありませんでした。

そのような中、当時まだ馴染みのないコンドミニアムを沖縄県恩納村に建てるプロジェクトがあり、東京で基本設計を行い、実施設計を沖縄の設計事務所が担当することになったのです。東京で基本設計を終えて実施設計を引き継ぐ段階になり、基本設計を担当したことで終わることへの心残りや建物が実際に完成するまで見届けたという気持ちが強くなり、沖縄の設計事務所へ転職が決まりました。そこから沖縄移住が始まったのです。

ところが、このプロジェクトは実現することなく夢のまま消えてしまいました。沖縄の設計事務所に勤務しながら感じたことは、東京のように企業との関係で設計依頼がくるのではなく、個人と個人の関係でつながっていることが多く、そのために作業の段取り決定が早く、実現化がスピーディーに感じられました。

設計が縁で沖縄に移住

27年前、私が沖縄の設計事務所に入社して1年後に、個人のオーナーから中部のホテル設計のすべての業務を任せられました。企画から完成まで、テナント、客室のインテリア、レストランの椅子・テーブル・グラスのコースターまで設計しました。設計から完成まで2年かかりましたが、私にとっての出発点ともいえる作想を思っ

ています。当時、大学の同級生からすべてを担当させられたことで羨ましがられたことを覚えていますが、そのときの達成感は今でも心に残っています。



出発点となったホテルのイメージパース

沖縄で設計事務所を開設して24年、図面を引くと当たり前のよう建物を実現する仕事が多くなっていきますが、初心に戻って建物が出来る喜びを忘れずに、日々切磋琢磨していきたいと思っています。

設計して24年、図面を引くと当たり前のよう建物を実現する仕事が多くなっていきますが、初心に戻って建物が出来る喜びを忘れずに、日々切磋琢磨していきたいと思っています。

建築家をめざして No.29

公益社団法人 日本建築家協会 沖縄支部 会員
万博広告で建築の道に 小林 文男 榎ワールド設計

私は、朝、太陽が昇り、夕方、夕日が沈むまで、遮る物のない、周りは畑と田んぼの閑野の真つただ中、栃木県の薬師寺で育った。
高校時代は、ブラジルに渡りダムを創ろうと考えていた。開拓移民を目指し、クラーク博士に憧れていた。北大を受験したがダメ。宇都宮大学の農学関係科に入学した。ちょうどその時、大阪万国博の開催が、新聞広告一面で出てきた。夢の世界だった。農業開発はやめた。建築に進みたい。この時、決心した。

母には、すくく反対された。1年間浪人生活をして、東京の建築の学校を選んだ。あの新聞広告がなかったら、全く別の道を歩んでいたと思う。
学生時代は、建築へ進んだにもかかわらず、4年間アルバイトの生活だった。最初の就職も建設会社へ入社し、現場管理、職人さん達の手配や、作業も一緒によくやった。そんな中、もっと現場をうまく運営出来ないか、この思いより、ネットワーク手法に興味を持ち、CIS研究所の金高所長の事務所へ行き、沖縄の(株)沖繩国際海洋博覧会協会への出向にたどり着いた。博覧会建設工事本部では、工程管理室に所属していたので、建築、土木、供給処理施設、公園とすべてのエンジニアの方々と関わる事ができ、この時の経験が私の基本になっ

土地に根ざし吹く風に耳を傾ける

ていると感謝している。その後、沖縄の太直設計にお世話になる時、「何が出来るのか」と聞かれ、「構造計算です」と答えてしまい、入社半年間、必死で勉強し、何とかクリアした事が思い出として残っている。事務所として先輩達が、よくコンペに参加していた。皆で徹夜もした。また、食事のソーマンを作ったり、ご飯炊きまでやった懐かしい思い出も残っている。
独立して最初に設計した住宅は、一人で全てやった。設計、設備計画、構造、模型作り、そして現場。現場では、コンクリート打設の時、職人さん達とよく戦った。今は、事務所のスタッフも皆育って、組織全体が花開く。そんな事務所を

にどう応えられるか、常に考えている。最近思う事は、建物を建てる為に買う土地は、どの場所でも、その土地ならではの歴史、良い所が必ずある。人も同じだ。だから、その土地を最大限に生かす建物を、その地域と共に創っていく事が、設計事務所の最大の醍醐味であり、いつも新鮮な気持ちで対峙していく事ができる。そして、その土地になじんでいく。又、地域の風景を担っていく場面を作っていく。楽しみを施すと共に見守っていく事が出来る喜びではないか。組織も又、一人一人が、得意分野で花開かせ、それが有機的に絡み合っ、組織全体が花開く。そんな事務所を



最初の設計：花城邸

建築家をめざして No.30

公益社団法人 日本建築家協会 沖縄支部 会員
建築における「かたち」根路銘 剛次 榎根路銘設計

デザインってどうするの？かたじけなくどうきめるの？何をどうすればいいの？途方に暮れていた大学時代に聞いたある教授の講義が、暗闇にも思えた私の将来に希望の光を灯してくれた。建築家香山壽夫氏である。
香山氏の講義は、自ら撮影した世界中の建築写真のスライドで見せながら説明していく手法が主で、活字からの想像だけではイメージがしにくい学生にとっては、とてもわかりやすいものであった。その講義で初めて建築の「かたち」とは何か、「つくる」とはどういう意味を持つのかというところを真剣に考えることができたと思う。その講義を聴いた後は、今までの不安やもやもやした気持ちはなく、自分は今何をすべきなのか、何をしたいのかという光がみえたような気持ちであった。その気持ちは今でも心に残っているし、現在行っている設計活動の根源ともなっているものでもある。
大学を卒業し、そのまま香山氏の事務所でお世話になることになった。約10年間様々な設計活動に参加させてもらった。設計技術の習得はもちろんであるが、やはりそこでも「かたち」とは何か、「つくる」とは何か、というところを常に根源のテーマとして自分自身に問いかけ続けていた10年間だったと思う。

意味を持つのかというところを真剣に考えることができたと思う。その講義を聴いた後は、今までの不安やもやもやした気持ちはなく、自分は今何をすべきなのか、何をしたいのかという光がみえたような気持ちであった。その気持ちは今でも心に残っているし、現在行っている設計活動の根源ともなっているものでもある。

ともに分かち合う「つくる」喜び

事務所ですべて手がけたカトリック町田教会
最初のプロジェクトは、小さな教会であった。200人程収容できる聖堂とその下階に信徒が集まる信徒会館、一部に神父様の居住スペースをもつ教会である。長く地域に愛されてきた教会で、長い間信者からの寄付金を貯めて改築工事を行うまでに至ったのである。当時の神父様をはじめ、信徒の方々はとても熱心で、様々な意見や議論が交わされた。設計だけでなく、3年はかかったと思う。長い設計期間ではあったが、その期間にはみんな設計をしているというような感覚で、建物が完成していかないにも関わらず、何か愛着の様な感覚が湧いていた。それは信者さんとも一緒だったのではないかと思う。そんな思いが込められた建物が完成したときの喜びというたら、言葉に表し様のないものであった。私自身にとっては、最初のプロジェクトで図面自ら描いたもので

さな教会であった。200人程収容できる聖堂とその下階に信徒が集まる信徒会館、一部に神父様の居住スペースをもつ教会である。長く地域に愛されてきた教会で、長い間信者からの寄付金を貯めて改築工事を行うまでに至ったのである。当時の神父様をはじめ、信徒の方々はとても熱心で、様々な意見や議論が交わされた。設計だけでなく、3年はかかったと思う。長い設計期間ではあったが、その期間にはみんな設計をしているというような感覚で、建物が完成していかないにも関わらず、何か愛着の様な感覚が湧いていた。それは信者さんとも一緒だったのではないかと思う。そんな思いが込められた建物が完成したときの喜びというたら、言葉に表し様のないものであった。私自身にとっては、最初のプロジェクトで図面自ら描いたもので



事務所ですべて手がけたカトリック町田教会

あっただけに尚更である。その時には正直「つくる」意味など考えてもいなかったのかも知れない。ただひたすら、目の前の人たちが喜ぶためにはどうしたらいいのか、ということしか頭になかったのだと思う。今振り返ると、「つくる」という意味は、その目の前の人達と共に喜びを分かち合うことなのではないだろうか。と感じている。「つくる」喜びを分かち合うことこそが、その意味なのではないだろうか。
(写真は筆者提供)

建築家をめざして No.31

公益社団法人 日本建築家協会 沖縄支部 会員
出会い 島袋 勝也 建築設計工房 Paraya



納骨堂の模型

私は、建築家とは無縁の環境で育ち、将来この道に進むとは想像もしていなかった。幼少から模型作りが好きで、食事も

大学4年の頃、県内の設計事務所での研修をさせて頂く機会があり、研修先は偶然にもあの雑誌に掲載された事務所であった。運命的なものを感じた。そこでは風土に根差した建築を探求し、若手スタッフも精力的で意

出会いに恵まれた建築家の道

識の高い仕事をしていた。そこで建築家への憧れが夢へと変わり、卒業後はその事務所に就職させて頂いた。以後独立するまでの18年間、所長や先輩方との出会いから得た多くの学びが、今の私を生かしていることを感じ感謝し

独立後、小さな教会から納骨堂建築について相談を受けた。20年間祈り、願ひ続けた教会員の建堂への熱い思いに共感し、引き受けさせてもらった。聖書の御言葉

「道が示された」と喜びの声を頂いた。実は、その時点では建築費用が半分にも満たず、献金を募りながらのスタートとなった。設計案と模型が教会に展示されると、不



納骨堂の外観

思議なことに大口の献金が寄せられ全ての費用が満たされていった。20年間待ち望んだ建堂に建築家として関わった事は意義深く、心に残る仕事となった。今でもクライアントの喜びが原動力となり支えられている。

これまでを振り返ると、常に人との出会いに恵まれて導かれてきたように思う。これからも一つ一つの出会いに感謝し、この道のりを歩んでいきたい。

建築家をめざして No.32

公益社団法人 日本建築家協会 沖縄支部 会員
温故知新の心で 上江田 正 GA2設計



東京時代の所長のスケッチ

子供の頃、建築には全く関係のない環境で育ちました。建築に進む要因があるとしたら小学校時代の図画工作、中学校での技術家庭の製図・制作が得意でした。夏休みの宿題で、叔父の家にあった当時と

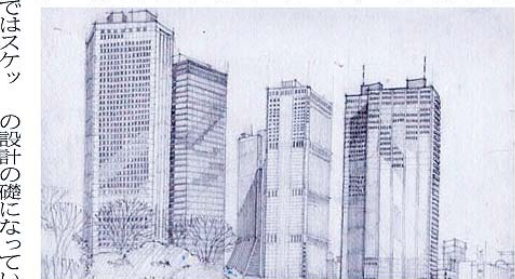
しては斬新な鉄筋コンクリート住宅の図面をコピーして提出したのです。それが予想以上の評価で初めて建築に接した胸の高鳴りを憶えたものです。大学進学の時点を美術を生かせるのは何かと考えた結果、建築の道へと進む事になりました。上京して学生生活が始まりましたが、美大へ進学する事が頭の片すみにはありませんでした。たまたま下宿の近くに絵画教室があり、体験入学をしてみると、そこで見た美大への進学希望の学生とのレベルの違いに落胆したと同時に、改めて建築は総合芸術だと認識し懸命に建築の勉強をした次第です。

絵・文章・言葉の三つを備える

その後、東京の設計事務所へ入社。最初の仕事はインテリアパースの作成でした。試行錯誤の中で描いたパ

その後、東京の設計事務所へ入社。最初の仕事はインテリアパースの作成でした。試行錯誤の中で描いたパ

「絵での表現」「文章での表現」「言葉での表現」のどれか一つでも良い。できれば三つの要素を備える訓練をするように言われたものです。このことは、これから建築をめざす人へのメッセージにもなると思います。



西新宿（1979年）のスケッチ

世話になった設計同人GANでは、沖縄の風土と文化について多くの事を学びました。東京での修行時代があつてこそ、沖縄と本土との生活習慣の違いが明確になり、今日

の設計の礎になっていきます。そして多くの施主、施工者に支えられて来ましたが未だに納得のいく作品作りのため格闘しています。

一軒一軒の住宅にはそれぞれ思い出があり、何年か後に施主の方から、快適に住んでいるとの言葉を頂いたときは建築設計を生業として続けた喜びがあります。これからは風土から来る伝統に新たな風を吹き込み、パラノスのとれた建築を造っていきたいと思います。

温故知新の心を持って「人・もの・空間・すべての調和をめざして」、まい進しようと思う日々です。

(写真は筆者提供)

建築家をめざして No.33

公益社団法人 日本建築家協会 沖縄支部 会員

海外での貴重な経験 **城間 俊** 株式会社堅建築設計事務所



担当課長宅での昼食会。左が筆者

と多様な経験が積まれていることを、いろいろと聞いてみた。そんな矢先、社内でボランティアから来た研修生のサポートを担当することに、コミュニケーションが得意で、友人も多いため、2年目からは生活にも慣れ、自分の考えも言葉で伝えることができ、友

涼み目的でぶらぶらと入ったいつもの本屋。高校3年生の夏、手に取ったデザイン雑誌はアンビルト建築特集で、ザハ・ハーン

デッドやレム・コールハースの作品が見開きで紹介されており、絵画的な美しい造形表現で夢を語ることも建築として成り立つことは、当時、目の前にそびえ立つコンクリートの塊だけが建築である、と考えていた無知な自分にとって衝撃だった。様々な表現が可能な建築という分野で自分の力を試してみようという進路を決めた。

選考を経て1997年から2年間、ヨルダン国に都市計画隊員として派遣される。派遣先は死海を見下ろす標高1,000メートルの丘にあり、12世紀に十字軍が建てた城を中心とする小さな城下町、カラク市の市役所だった。

ヨルダンでの苦しくも楽しかった異文化暮らしにも、帰国後過ごした東京での厳しい都会暮らしにも、常に様々な課題が目の前に立ちほだかっていたが、それをひとつひとつ克服する過程で多くのことを学び、その経験が今の活動に役立っている。今後も隠せず新しいことに挑戦していきたいと思う。

写真は筆者提供。



カラク市遠景。左がカラク城

新しい挑戦を重ねて

建築家をめざして No.34

公益社団法人 日本建築家協会 沖縄支部 会員

人との出会い **立津 秀樹** (㈱プランネット一級建築工事務所)



私が建築家を志したことは、自分が生まれ育った環境と人との出会いが決定的要因として存在します。

私は宮古島に生まれ育ちました。第二宮古島台風と呼ばれた瞬間風速が最大級の台風により、住んでいた家が半壊しました。暴風の中を避難したことは幼い私にとって、自然の脅威と住まいというシェルターを強烈に印象づける出来事でした。大学進学の際、自分の住む家を自分で作って見たいなという漠然とした思いだけで、創設間もない琉球大学の建築科に入学しました。

ちました。第二宮古島台

で教えていただいた、末吉栄三氏です。氏の自信に満ちたトークと建築に対する熱い思いは、講義の中で非常にインパクトがあり、建築の面白さを感じていました。夏休みには、教えていただいた建物を東京まで見に行き建築への視野が広がりました。

それから越智氏には、建築の考え方や、まめ方の敷地の考え方を、教えていただきました。自分の家を自分で作りたいという漠然とした思いから出発した私が、建築に携わって25年にもなりますが、やはり建築の面白さは人との出会いが大きいと思っています。

自然体で建築を

身主に建設業関係者もいないし、できたばかりの学科だったので右も左も分からなくて、何をどう学んだらいいのか、設計というものが、どういうものなのか、とまどう

これからも、人との出会いを楽しみながら施主とのコラボレーションを大事に設計していきたいと思っています。(写真は筆者提供)



とまどう毎日だった。毎日が緊張感があります。設計が自分に合っているのかという想いが常にあり、空回りしていた普通の学生生活のなかで、強烈な個性の2人の建築家に出会いました。1人が琉大

が、それは非常に驚きであり、感動でした。その時、一つの物件を皆で作っていくという事を身近に感じ、建築は感性のみではなく、理屈で組み立ててい

建築家をめざして No.35

公益社団法人 日本建築家協会 沖縄支部 幹事

青焼き図面に導かれて 運天 浩 (名工企画設計)



親和銀行内部

卒業を条件に採用されることになり事務所では電話応対、掃除などの常職や図面の青焼き、横型作成、建具



親和銀行の石庭

建築を志したのは中学の時に近所の建設会社で初めて見る青焼きの図面に感激し、工業高校の建

進路相談で担当の先生の先輩が主宰の事務所を強く推薦され、冬休みと卒業前

驚きと感動が原動力

入所8年目の頃、沖縄県庁の実施設計を設計共同組合で請負うことが決定し事務所代表で出向することになり、各事務所から集まった先輩方と黒川事務所のスタッフに混じりながら普段体験することのできな

築科に進む事を決めた。3年次には卒業設計があり課題をホテルと決め取組み始めた。担当の先生が屋宜原にあるヒルトンホテル(現コスタヒスタ沖縄)に知人がおり、見学できるとの事で同じ課題に取り組み数人と共に隅々まで見学させてもらった。初めてみるホテルは杉枠打放しの曲線を描く外観で、ロビーや客室の空間・ディテールに感動し、設計の仕事に従事したい気持ちが強くなった。

表などの図面作成、確認申請の書類作成等を教えてもらいながら仕事を覚えていった。住宅のプランも早い段階から担当させてもらい施工との打合せ、現場監理、業者対応など悪戦苦闘しながらも先輩に助けってもらいながら仕事をこなせるようになった。

この海外旅行で目に飛び込む町並みや建築に感動した。親和銀行では内部も見学ができればよかった光の空間、スケール、材料の組み合わせやディテールに圧倒され、とても感動した。これを機に年に数回建築視察旅行をするようになった。スケッチから発想が実体として立ち現れ人々に感動を与える空間を創りだす多くの建築家の作品に触れ、経験し、影響を受け学んだ事が自らの設計活動を続ける原動力になっているのだと思う。これからの初心を忘れず感動を与えられる建築空間を創りたい事を感じて設計ができればと思う。(写真は筆者提供)

建築家をめざして No.36

公益社団法人 日本建築家協会 沖縄支部 会員

建築家は最高の職業 久田 友一 (久友設計㈱)



イメージを伝えるスケッチ

小学生の頃から絵を描くのが好きで、将来は画家のような道に進むものだと思っていました。中学生になると、建設業を営んでいる父親から工事中の現場や完成した家の

私は、好きだった

挨拶廻りに連れて行ってもらう機会が増え始め、高校・大学の頃にはバイト代ほしさもあって毎年休みに入ると当然のように現場の手伝いをするようになった。その後、知人の紹介で設計事務所へ就職、残業が多く責任の重い仕事だと思いつつ、クライアントの充実した新たな人生を演出するやりがいのある仕事だと感じるようになりました。建築家を目指すきっかけは、設計担当を任せられて間もなく、心配が重なり始めていた時にクライアントから建築家としてのオリジナリティーのある表現や想像力が認められた事です。

失敗と修羅場の経験が財産に

出し地域や空間を良くして行くには、若いうちから自分を厳しい環境に置き、たくさん失敗を経験することです。私も数多くの失敗と修羅場を経験してきましたが、そのすべてが財産になっています。胸を張って言えます。

最近、増税前の駆け込み需要の影響もあり、現場での職人不足や設計事務所も特に若い世代が足りない状況ですが、建築家を目指す学生や若い世代には「バイタリティー」を身に付けて欲しいと思っています。良い作品を生み出すには、

絵(スケッチ)を描いて間取りやデザインを早く分かりやすく伝えることを手法の一つとして取り入れました。そんなスタンスが建築家として確立できれば、家族一人一人の幸せへつながり、ひいては地域・社会にも貢献できると感じています。



うるま市新庁舎のイメージパース(共作)

最後に建築家は社会を直接良くしていくことが出来る最高の職業だと信じています。これからも社会に貢献できる事は、常識にとられず挑戦していきますので今後とも宜しくお願い致します。(写真は筆者提供)

どんな状況に置かれてもたとえ失敗したとしても常に真剣に取り組みさえすれば一番大切な「気づき」が得られます。ですから失敗を恐れず「バイタリティー」を身に付けてどんどん地域の人々やクライアントの幸せに向かって挑戦してほしいのです。

2015年度(第19回)

通常総会・講話・建築懇親会

2015.5/21[thu] パシフィックホテル沖縄

総務委員会 委員長 伊良波 朝義



◆ 通常総会

正会員61名(内委任25名)が出席する中、伊良波朝義総務委員長より、総会成立宣言が宣誓された。金城優副支部長の開会の挨拶の後、島田潤支部長より挨拶が行われた。議長に知念信正会員を、議事録署名人に金城傑会員及び久高多美子会員が選出され、承認の上議事が進行された。

◇ 決議事項

第1号議案：2014年度事業報告・財産目録・貸借対照表及び損益計算書の承認の件、及び監査報告の説明があり、異議等なく承認された。

第2号議案：2015年度役員改選の件について、執行部より別紙役員改選案の説明があり、異議等なく承認された。

◇ 報告事項

2015年度事業計画及び収支予算について

當間卓新支部長より、「2015年度沖縄支部事業計画」についての説明があり、今年度の事業目標を以下の3本の柱としてまとめた。

1. JIAの独自性を保ちながら、他会と連携して市民への公益活動、広報活動を積極的に行う。
2. 次世代を見据えた若手育成の具体的な教育、研修活動を行う。
3. 海外事業の展開を目標とした海外交流活動を行う。

支部長への感謝状の贈呈

當間卓新支部長より、島田潤前支部長へ感謝状の贈呈が行われた。

講話

講師：JIA沖縄支部顧問 古市 徹雄氏

演題：「宮畑縄文博物館ができるまで」

古市徹雄顧問より、福島県で建設中の「宮畑縄文博物館」について、設計の考え方や現場の状況等について語って頂いた。その中で、縄文土器からヒントを得た構造ユニットによるグロッタ空間や、公園と一体となったランドスケープの特徴を紹介して頂いた。

今回の計画で特にこだわったこととして、整合性のとれた構造を見せること、人工的な材料を用いないこと、空間に強弱、大小を使い分けるなど、示唆に富む有意義な講話であった。

宮畑縄文博物館は8月4日開館予定とのことなので、今回の講話を胸に秘め訪ねてみたいと思います。





第18回卒業設計作品選奨表彰式

支部総会、古市徹雄顧問の講話を頂戴した後、去った3月22日那覇市おもろまち沖縄県立博物館・美術館にて開催した第18回卒業設計作品選奨での栄えある受賞者皆様迎え表彰式を執り行いました。

大学部門:優秀・特別賞1点ずつ、専門専修学校部門優秀賞1点、特別賞2点、高校部門:優秀・特別賞1点ずつの計7点の受賞者に対し、島田支部長より各位に記念盾を授与頂き、併せて各受賞者より一言ずつの挨拶、締めくくりとして細矢仁審査委員長より有意義な会であったことの報告と受賞者の未来へ向けた一言を頂戴し閉会した。

その後6月末に開催された全国コンクールには、大学部門の優秀賞を受賞した西日本工業大学卒業:太田亮さんが参加、錚々たる建築家による審査に対し自らの主張をはっきりと伝え、受賞へは届かなかったものの、一次選考では審査員から票を獲得し二次へと進んだ。全国コンでは沖縄の地域性に対し、審査員の理解を得難いなど多少のハンディはあるものの、前向きに臨む姿勢と、他応募者の優れた作品+プレゼンを体験する又とないチャンスとなる。あと一步踏むこむことで十分に他都道府県の作品と肩を並べるところまで作品の質・ボリューム共に向上してきている。今年度挑む学生の更なる精進に期待したい。

教育研修実務訓練委員会 美濃 祐央



建築懇親会

◆建築懇親会

正会員29名、ジュニア会員1名、協力会員19名(12社)、来賓14名、総勢63名が出席する中、伊良波朝義新副支部長の開会の挨拶の後、當間卓新支部長より挨拶が行われた。

来賓を代表して沖縄総合事務局開発建設部営繕調整官の丸田智治氏、沖縄県土木建築部長末吉幸満氏より挨拶を頂いた。

法人協会会長の沖縄菱電ビルシステム社長荒殿洋一氏より乾杯の音頭があり、参加された方々との歓談となった。その後、新役員の紹介や卒業設計作品選奨受賞者紹介があり、最後に前田慎新副支部長より閉会の挨拶があり、来場のお礼や今年度も支部活動が充実することを願ってお開きとなった。



「みんな力」-ともに在る社会へ-

JIA 建築家大会2015金沢
2015.9/17 [thu] - 19 [sat]

総務委員会 委員長 城間 俊

「JIA 建築家大会 2015 金沢」は新幹線が開業して間もない観光客で賑う石川県金沢市で開催されました。全国から登録参加者が 700 人を超える中、沖縄支部から総勢 15 名の会員・ジュニア会員・法人協力会員の方々にご参加いただきました。

3.11 を契機に私たち建築家の考え方・立場も大きく変わり、大会テーマ「みんな力」に表現されているとおり、みんなで何とかしたいという思いを込めて様々な催し物が本大会で企画されました。計 11 本のフォーラム（シンポジウムを含む）では、同じく大会テーマである「ともに在る社会へ」を実現するため具体的な視点・手段・立ち位置で実現していくべきかを建築家のみならず、行政・経済・教育・福祉・芸術・建設など各分野の国内外で活躍する 41 名もの講師を交え活発な議論が行われ、ともに在る社会に向けた建築家像のありかた、社会への関わりについて考える良い機会となりました。

9月18日、金沢歌劇座ホールで行われた大会式典では、フェロー会員授与式において当支部顧問・又吉清春氏がステージに上がり全国48人のフェロー会員代表として称号を授かりました。その夜に開催されたレセプションパーティーでは、あいにくの土砂降りではありましたが、北陸支部の「みんな力」を結集した手作り料理・郷土芸能のステージをはじめとした最高のおもてなしに感動し、記憶に残る素晴らしい宴になりました。パーティー後には、恒例の「沖縄 NIGHT」を市内で催し、他支部からの参加者を含め約 30 人が一堂に酒を酌み交わしさらなる交流を深めました。

本年 2016 年 10 月には大会テーマ「笑都物語～繋いできたもの、繋いでゆくもの～」を掲げた全国大会の開催が大阪で予定されています。今年も一緒に盛り上げていきましょう。

沖縄支部参加者リスト

- | | |
|---------------|------------------|
| 1. 城間 俊 正会員 | 9. 運天 勲 正会員 |
| 2. 金城 優 正会員 | 10. 島田 潤 正会員 |
| 3. 又吉 清春 正会員 | 11. 金城 司 正会員 |
| 4. 前田 慎 正会員 | 12. 細矢 仁 正会員 |
| 5. 伊良波 朝義 正会員 | 13. 荒殿 洋一 法人協力会員 |
| 6. 城間 俊 正会員 | 14. 比嘉 裕隆 ジュニア会員 |
| 7. 山城 東雄 正会員 | 15. 崎山 尚志 ジュニア会員 |
| 8. 久高 多美子 正会員 | |





代表 又吉
Mr. Kiyoharu Matayoshi

金沢21世紀美術館
2015/09/19

| 沖縄から東南アジアへ |

沖縄県建設産業グローバル化推進事業への取組

泉設計・JIA沖縄支部共同企業体
代表 當間 卓



公益社団法人日本建築家協会(JIA)沖縄支部では、2012年より、ARCASIA(アジア地域建築家評議会)加盟諸国との国際交流事業を開始した。その目的は「これからの沖縄の建築家は東京に眼を向けるのではなく、東南アジアを向いて活動しよう」という方針を掲げたからだ。初年と二年目の交流をすることになったタイ王国とのきっかけは、琉球大学とキングモンクット工科大学の学生実務研修(OJT)の縁で、両大学の交流を通してタイ王立建築家協会副会長チャレラムパンス氏の事務所訪問やタイ北部チェンマイの建築家との交流が始まった。

2013年10月、国際交流事業を始めて2年目の年に、沖縄県より「沖縄県建設産業グローバル化推進事業」の公募があり、JIA沖縄支部国際交流事業の目的に合致していたので、事業計画書を提出し承認を得た。この推進事業の公募は、沖縄県内の建設関連企業が海外に初進出し、海外業務受託に向けた取組における視察及び市場調査に対して、3年間渡航経費の支援をするものである。また、公募趣旨が企業活動を支援ということなので泉設計・JIA沖縄支部共同企業体として参加した。

事業計画概要は、沖縄の工芸品として有名な琉球ガラスを製造販売している琉球ガラス村のベトナム現地法人「ベトナム琉球文化工芸村」の工場改築計画とベトナム主要都市へのギャラリー+販売店の出店計画である。沖縄で手に入る琉球ガラスの多くはこの現地法人で製造され、20年の実績のあるベトナム人熟練工110余人が全て手づくりで製作している。現在は工場の敷地面積約7,000㎡、既設建物として生産工場、本社オフィス、宿泊所、従業員食堂が併設されて、休憩時間に木陰で休むことのできる広い中庭が設けられている。今回改築計画の対象となるのは生産工場と憩いの場所である中庭で、改築後には2,650㎡となる予定である。改築計画の打合せと市場調査のために2013年度に1回、2014年度に2回、2015年度に1回とハノイ、ホーチミン、ダナン、ホイアンに渡航した。2013年度は主にインフラ調査、老朽化調査、生産工程と必要諸室・規模の関係など設計と条件の整理を行った。2014年度8月はベトナムの法制度、現地設計事務所との連携体制、施工会社の技術力と建設コストの市場調査を行い、11月には設計と条件をもとに改築計画案を作成し、BIMを用いて配置平面図、立断面図、外観内観パースによりプレゼンテーションを行った。更にハノイ中心部、ホーチミン市街地にて店舗出店計画の市場調査を行った。改築計画案の提案により、現行の敷地内で規模・機能性・効率性など要望を満たす計画が可能であることを示すことができた。改築に向けて順調に進んでいるように思えたが、2015年度の初めに「借地権の更新」という問題が発生した。施主が20年前にハノイに進出した際にベトナム政府より借地した工場敷地の借地権の更新があり、予定していた期間よりはるかに短い10年となり、改築事業計画の見直しを迫られたのである。この見直しにより当分の間業務中断となる。ここで少し時間ができたことで我々は3年間の総括をし、業務再開時に滞ることのないようにしたい。

この3年間ベトナムに通い、市場調査や法規制、工場改築計画の提案、現地設計事務所との連携方法、施工会社の技術力や建設コストの把握により、我々がベトナム国内において建物の設計監理から竣工に至るまで一連の業務を実施することが可能であると確認できた。

今後は来年度の業務再開を期待するとともに、全国の設計事務所に向けベトナムでの設計業務受注機会があるにも関わらず躊躇しているのであれば、是非一緒に実施しようと発信していきたい。また、沖縄の会員にも東南アジアに向けて一歩踏み出せるよう、背中を押してあげる支援体制をつくってあげればと考えている。



| JIAフレッシュマンセミナー・神戸2015 |

フレッシュマンセミナー研修報告

JIA沖縄支部 安富祖 理絵



▲建物を背景に記念撮影

■研修名：JIAフレッシュマンセミナー・神戸2015

■受講場所：「味と宿 花月」兵庫県神戸市須磨区西須磨字鉄拐7

■受講期間：平成27年11月28日(13:20)～11月29日(11:30)

■研修目的：入会后、間もない会員にJIA活動について認知してもらうのと同時に、このセミナーを通して一緒に活動していく仲間と知り合い、今後のJIA活動の出発点となることを目的とする。



▲松本氏の講義

■研修レポート

神戸にて開催されたフレッシュマンセミナーに参加してきました。会場は、かつて神戸市の迎賓館として使用されていた趣深い洋館でした。私を含めて12人の西日本の新会員と、先輩方4人、講師の先生3人、そしてオブザーバー2人の計21人が参加しました。

まずはJIA副会長であり、近畿支部長である松本敏夫氏による「JIAの活動について」の講和でした。JIAの歴史に始まり、組織形態、資産状況等を教示して頂くとともに、今後の課題について熱心に伝えて頂きました。



▲鮎川氏の講義

続いては、元九州支部長である鮎川透氏による「近代化のなかでの建築士と建築家」についての講義でした。岩波書店発行の広辞苑には第五版まで「建築家」という言葉が載っていないということを糸口に、どのように建築家というものが認識されていったかを、建築と社会背景を対比させた年表を使って細解いていきました。氏の考える今後の建築家像については、寺山修司氏の言葉を借りて「書を捨てて、街に出よう！」と表現し、過去の建築家のイメージは社会の変化にそぐわないと考え、これからの建築家は地域に根差し、地域に貢献していくものであるとご教授いただきました。



▲出江氏の講義(2日目)

最後は、前JIA会長である出江寛氏による「建築とは哲学することである」の講義でした。「死ぬのを恐れるのではなく、どう生きるか!」「建築を面白くしないと早死にする。」というような、生き方の哲学に始まり、デザインの極意や、好きなデザインをするためのネゴシエーションの極意等、多種多様な教えをいただきました。氏の著書である「数寄屋の美学」の内容についても講義して頂き、一同が時間を忘れ出江氏の世界に引き込まれていきました。講義は予定時間では足りず、当日の時間を延長しても終わりきれず、遂にはプログラムを変更し次の日へ続くという秀逸な指南でした。講義の最後に、「ケミカルな材料で文化をどうつくるか?この解決方法を考えることが建築家になることである」と教えていただきました。



▲夕食会

夕食会では、お酒も振舞われ、和やかな雰囲気ですべての会員同士の親睦を深めることが出来ました。そして場所を変えての2次会では、出江氏を囲んでざっくばらんに自己紹介をしました。



▲二次会

今回のセミナーに参加して、JIAの活動がいかに自身の視野を広げてくれるものかということを知りました。また、刺激的で建築家を目指す者にとって有意義な場であると、深く認識しました。このような場に参加する機会を下さった沖縄支部の皆様には、この上ない体験をさせていただきましたこと誠に感謝申し上げます。

今後の活動の糧とし、沖縄支部からJIAを盛り上げていきたいと思っております。

2015年度 香港マカオ研修報告書

JIA 沖縄支部

国際交流副委員長 安富祖 理絵



▲珠海学院 新校舎 建設現場視察



▲Ronald Lu and Partners Ltd. にて



▲香港理工大学校舎 jockey club innovation tower



▲Rocco Design Architects Ltd. にて



▲HKIAとの交流

■研修名：JIA 沖縄支部 国際交流事業 2015 香港マカオ研修

■訪問先：香港、マカオ

■実施期間：2016年2月24日～2月28日(4泊5日)

■参加者数：支部会員8名、賛助会員1名、支部会員事務所職員1名、オブザーバー3名の合計13名

■研修レポート：

〔目的〕

沖縄支部では、会員の東南アジア進出が促進されるような環境作りには平成24年度より取り組んでおり、本事業はその根幹となる継続事業である。今年度は香港とマカオへの訪問を13名の参加者で実施した。

香港はアジア屈指の国際都市で、JIA 沖縄支部が目指している設計事務所のグローバル化の見本となる事務所が多い都市であるので、香港建築家協会(以下、HKIA)や設計事務所との交流を通して情報を収集し、会員への情報フィードバックを目的としている。加えて、香港コンベンションアンドエキシビジョンは高稼働率のMICE施設であり、その視察を行い情報収集と多くの知見を得て、今後沖縄県が進めるMICE施設建設等事業への助言提言等を通して沖縄の街づくりに貢献して行きたいと考える。

また、マカオは歴史的観光地区と最新のエンターテインメントがいくつも立ち並び、国際的観光都市を目指す沖縄にとって街づくり事業の参考になる都市である。その視察を通して、これからの沖縄の都市計画に関して、建築家としてどのようにアプローチしていくかを考えることを目的とした。

〔内容〕

以下の5つの分類内容で研修を実施した。

1)HKIA(香港建築家協会)との交流

HKIAのSpring receptionに参加。その後、会長及び理事、会員の方々との会食。

JIA 沖縄支部から、沖縄の風土や古民家など伝統文化、戦後沖縄の近代建築などのプレゼンを行い沖縄の紹介を行った。

2)MICE施設視察

香港コンベンション アンド エキシビジョンセンター視察。事前に平面図等の資料を送付して頂きそれに基づき見学を行った。

3)現地設計事務所訪問

①Rocco Design Architects Ltd.にてRocco Yimさんより建設中(本研修中に見学予定)の珠海学院新校舎及びHKSAR Government Headquartersの解説と事務所見学。

②Ronald Lu and Partners Ltd. にてKah H. Wongさんより作品のプレゼンと事務所見学。

③THE KOWLOON MOTOR BUSCO. LTDにてJulia M K LauさんよりICC及び九龍島のターミナル計画についてのレクチャー。



▲マカオ歴史地区の視察



▲HKIA spring receptionにて

4) 著名建築視察

香港理工大学校舎 jockey club innovation tower (設計ザハ・ハディッド) 学校側よりデザインコンセプトと教育プログラムの紹介。珠海学院 新校舎 (設計 Rocco Design Architects) 2カ月後竣工予定の現場を見学。設計側から案内解説して頂いた。その他建物見学。

5) 都市視察

- ①マカオ歴史地区の視察。世界遺産及び歴史的観光地区の視察。
- ②Tsuen Wan new town の視察。珠海学院 学部長 Chu 教授の案内。九龍島のローカル地区の視察。

〔 成 果 〕

香港建築家の建築物を始め、世界的に活躍する建築家の作品を視察するとともに、現地建築家の事務所にてプレゼンを聞くことで、香港の建築の在り方や建築手法などを深く理解することができた。そして、グローバルスタンダードで活躍する彼らのような建築家の話を間近で聞けるチャンスを得たのは、参加者達にとって大きな刺激になった。

また、HKIAの Spring reception に参加したことで、より多くの建築家の方々と知り合うことができ仕事のチャンスと人脈ができた。

世界でもトップクラスの人口密度の香港にとって、建築の複合化は必須条件であり、個別の建物が都市へ対する責任を担い、足元に公開空間を持つという特徴がある。それこそが香港を美しい国際都市として形作っている一因だと考える。

英国の影響を受け、中国と英国の文化を融合させて独自の文化を歩んできた香港は、同様に、米国の影響を受け、独自の文化を歩んできた沖縄が、国際都市として発展していくための良いモデルケースであると感じた。

そして、HKIA で理事をしている珠海学院の CHU 学部長より、来年2月に建築学部学生の沖縄研修を依頼されており、実現に向けて尽力している。国際化された香港の学生との交流により、沖縄県内の学生の質向上につながる事を期待すると共に、沖縄と香港が持続的に交流を積み上げていくことを願う。

〔 謝 意 〕

まず初めに、今回の支部国際交流事業活動を評価して頂き、3年続けて本部国際交流助成を頂いたことに感謝申し上げます。

続けて、岩村先生には Chu 教授を紹介して頂き誠に感謝申し上げます。そして、Chu 教授におかれましては HKIA との交流、Rocco Design Architects Ltd. 訪問、Ronald Lu and Partners Ltd. 訪問、珠海学院視察に関してご尽力いただいたこと、心より感謝申し上げます。

当支部が目指している「会員の東南アジア進出」への成果が少しずつではあるが出てきている。本事業が参加者各位のそうした活動に貢献している事は担当委員会としてうれしく思うと共に、参加会員に謝意を表します。



▲岩村先生、Chu 教授と共に夕食会

香港マカオ研修スケジュール

日次	日付	時間	スケジュール
1 日目	2/24 (水)	09:55 11:55 13:50 14:40 16:00 17:00	那覇空港国際線ターミナルご集合。 那覇発 香港航空 681 便にて香港へ。 香港着。入国審査・税関審査。 空港出発。現地係員と共に専用車にて香港市内の港へ 香港より高速船でマカオへ 現地係員と共に専用車にてホテルへ 各自でカジノ、ショッピングモール、ショー等複合施設視察 ○宿泊：Holiday Inn Macao Cotai Central 【マカオ泊】
2 日目	2/25 (木)	9:00 12:00 19:00 20:15	ホテルにて朝食。 現地係員と共に専用車にて「マカオ市内視察」へ 聖ポール天主堂、セナド広場、民政総署大樓、等 マカオのリノベーション施設レストランにて昼食 マカオより香港へ ○香港建築家協会 (HKIA) の Spring reception に参加 ○HKIA と会食 ○宿泊：Hotel Panorama By Rhombus 設計：HKIA 会長 Vincent Ng 【香港泊】
3 日目	2/26 (金)	09:45 10:15 11:30 13:30 15:30 17:30	ホテルにて朝食。 ホテル出発 ○香港理工大学校舎 jockey club innovation tower 見学 ：設計ザハ・ハディッド (学校側より案内あり) ○「香港コンベンション アンド エキジビションセンター」 ：設計 SOM」にて MICE 施設見学及び昼食 ○Rocco Design Architects Ltd. にて交流 ○HKSAR Government Headquarters 見学 ：設計 Rocco Design Architect ○Ronald Lu and Partners Ltd. にて交流 (16:15～前田委員長は Chu 教授と沖縄建築のプレゼンへ 17:00～18:00) ○香港島ビジターセンターにて 100 万ドルの夜景と夕食 ピークタワー見学：設計 テリー・ファレル JV Ronald Lu and Partners 【香港泊】
4 日目	2/27 (土)	9:30 10:00 14:00 16:00 18:00	ホテルにて朝食。 ホテル出発 ○THE KOWLOON MOTOR BUSCO. LTD との交流： ICC 及び九龍島のターミナル計画について Julia MK Lau さんよりレクチャー ○Tsuen Wan new town (珠海学院 学部長 Chu 教授 による案内) ○珠海学院 新校舎見学 設計：Rocco Design Architects (岩村先生同行) ○岩村先生と Chu 教授と夕食 【香港泊】
5 日目	2/28 (日)	9:00 11:45 15:05	ホテルにて朝食。 現地係員と共に専用車にて香港空港へ。 香港発 香港航空 658 便にて那覇空港へ。 那覇着 入国審査・税関審査。

琉球浪漫2016 沖縄建築展

りゅうきゅうロマン2016
だいじかいおきなわけんちくてん

「ケンチクカ」ってなあ〜に

19日はこどもワークショップ
おきなわにミラミキがつくれるよ
建築文化講演会
建築文化講演会
建築家・永山祐子氏
「建築というきっかけ」

こどもケンチクカになれるよ!
「建築というきっかけ」

【入場・参加無料】
3月15日(火)~20日(日)
場 所 沖縄県立博物館・美術館

こどもけんちくワークショップ：おおきなミツまきをつくるよ
ワークショップ 3/18 (土) 10:00~15:00 (お歳暮期ではありません)
対象年齢 小学生 (土) 10歳未満は不可
対象年齢・定員 小学生、人数20名程度、保護者同伴が必須
費用 参加費 3/18 (土) 10名まで無料、以降有料

おきなわこども建築家になろう!
日 時 3/20 (日) 10:00~15:00
対象年齢 小学生以下
参加費 無料

第19回卒業設計作品選奨 公開審査・発表
日 時 3/19 (土) 13:30~17:00
対象年齢 3/20 (日) 10:00~17:00
参加費 無料

JIA 沖縄支部 建築展
日 時 3/15(火)~3/20(日) 10:00~18:00

主催：公益社団法人
日本建築家協会沖縄支部
〒900-0001 沖縄県浦添市 3-2-2
TEL 098-943-4343 FAX 098-943-0727
Eメール info@jia-okinawa.org

主催：日本建築家協会(JIA)沖縄支部 主催
建築文化講演会

建築家 永山 祐子

テーマ「建築というきっかけ」

日時：2016年3月18日(金)
開場：16:30 開演17:00~

場所：沖縄県立博物館美術館 3階講堂

申込：定員200名 事前申込制(当日空席あれば対応可)

当支部ホームページ上パナーよりフォームに宛て、FAX・メールにてご登録申し込みください。 <http://www.jia-okinawa.org> 案C.P.D単位取得予定



永山 祐子 氏
1974年、東京都生まれ。1997年、東京大学工学部建築学科卒業。1998年、東京大学大学院工学系研究科建築学専攻修士課程修了。1999年、東京大学大学院工学系研究科建築学専攻博士課程修了。2001年、東京大学大学院工学系研究科建築学専攻准教授。2003年、東京大学大学院工学系研究科建築学専攻教授。2005年、東京大学大学院工学系研究科建築学専攻学長。2007年、東京大学大学院工学系研究科建築学専攻学長。2009年、東京大学大学院工学系研究科建築学専攻学長。2011年、東京大学大学院工学系研究科建築学専攻学長。2013年、東京大学大学院工学系研究科建築学専攻学長。2015年、東京大学大学院工学系研究科建築学専攻学長。2017年、東京大学大学院工学系研究科建築学専攻学長。2019年、東京大学大学院工学系研究科建築学専攻学長。2021年、東京大学大学院工学系研究科建築学専攻学長。2023年、東京大学大学院工学系研究科建築学専攻学長。2025年、東京大学大学院工学系研究科建築学専攻学長。

本日は、公益社団法人日本建築家協会沖縄支部の琉球ロマン2016沖縄建築展にお越し頂き、誠にありがとうございます。
沖縄支部では1年間の活動の総括として、広く県民の皆さまに支部活動を知っていただくと同時に会員作品の発表の場として、毎年この時期に開催しております。

今年度のテーマは「ケンチクカってなあ〜に」。建築家を志す子供たちが一人でも多く出てきてくれる様にとの思いが込められています。建築設計の担い手不足が深刻さを増す中、若手設計者や建築を志す学生の人材育成をめざした「沖縄建築未来塾」及び「卒業設計作品選奨」、将来は海外進出を見据え、4年前より東南アジアの建築家との交流を重ねている国際交流事業、沖縄県の支援を受けて具体的に海外業務に取り組んでいる「沖縄県建設産業グローバル化推進事業」、建築作品展などを県民ギャラリーで公開しています。また、建築文化講演会として、日本全国で活躍している若手建築家・永山祐子氏をお招きし、ご自身の建築作品を通して若い方々に建築のおもしろさ、奥深さを示唆していただけるものと思います。

更に体験型のプログラム、こどもけんちくワークショップとして、小中学生を対象に「おおきな秘密基地をつくろう!」、「おきなわこども建築家になろう!」を実施し、建築をつくる楽しさを実感し、建築のことをもっと学んでもらうことで、活動フィールドの広さを知っていただけることでしょう。

倫理性、独立性、芸術性、専門性を持ち合せた建築家として社会に認めてもらうためには、長い年月を掛けて自己研鑽を重ね、お互いに切磋琢磨をしていかなければなりません。

我々の活動を通しこの建築展を観て体験し、子供たちや若い方々が新しい発見をして、建築家を志すきっかけとなれば成功といえるのだと考えています。

最後に、今回の建築展に多大なご貢献を頂きました協力会員の皆さまには、心から感謝を申し上げます。

公益社団法人 日本建築家協会沖縄支部
支部長 當間 卓



会員建築
パネル展



建築文化
講演会

建築家 永山祐子氏による
「建築というきっかけ」を
テーマにした講演



こども
けんちく
ワーク
ショップ



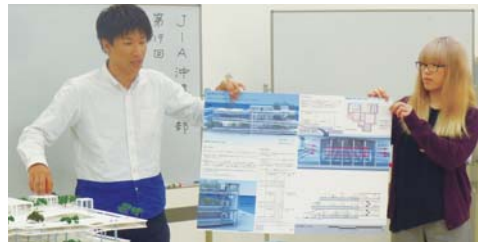
おおきなヒミツきちをつくろう

おきなわ
こども
建築家になろう!



第19回
卒業設計作品
選奨

沖縄県内の各大学・専門学校・高校・県出身の県外学生を対象に募った卒業設計作品を、今回の審査委員長である(株)デザインネットワーク代表取締役 島田潤氏が選抜します。





「琉球ロマン 2016 第18回 沖縄建築展」の中心企画の一つ 永山祐子氏建築講演会「建築というきっかけ」が3/18 沖縄県立博物館美術館講堂にて開催された。

永山さんの作品には誰もが容易に把握できるような通奏低音的で記号的なデザインは存在しないように感じていましたが、今回の講演で永山氏が20作品を超える実作を丁寧に解説されていく中で炙りだされたのは、具体的な記号やカタチに現れる作家性と言うよりは、敷地や与条件に対して現実化させたいと氏が考える強い「現象」を確かな「物・素材・それらが放つ有様」を地道に確認し散りばめていくコンダクターとしての姿、と思えました。

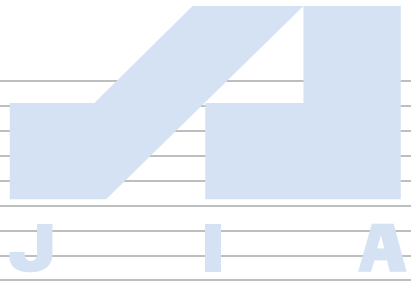
プロジェクトごとに示されるテーマは多種多様な着地点をもっており、氏が考える強い「現象」を現実化する過程・実験が、地道なスタディを通して日々繰り返されている有様が400枚近い資料と写真で示された。

その地道な確認作業の全てに氏に関わり、多くの現場やサイトに直接赴き、全てを把握・説明されている建築家としての姿勢に会場に来られた方々は大変感動されたのではないのでしょうか。

講演会前に那覇市内や中村家住宅をご案内する中でも、素材や納まりをあたかもハンティングしていくかのような視点で見学されていたのが大変印象的で、講演会で話されていたように「物を通して魅力的な現象」に到達していくその姿勢は一貫されているのだなぁ、と感じました。

氏が沖縄に滞在された短い時間の中で示された、建築家としての真摯な姿勢は、講演視聴者の思考や印象に大きな影響を残されたことでしょう。

JIA沖縄支部教育委員会
副委員長 細矢 仁



公益社団法人 日本建築家協会 (JIA) 沖縄支部

第19回 卒業設計作品選奨

- 主催 公益社団法人 日本建築家協会 (JIA) 沖縄支部
- 後援 (株) 沖縄タイムス社・琉球新報社 (株)・(株) 沖縄建設新聞社・(株) タイムス住宅新聞社・NHK 沖縄放送局・琉球放送 (株) 沖縄テレビ放送 (株)・琉球朝日放送 (株)・(公社) 沖縄県建築士会・(一社) 沖縄県建築士事務所協会・(一社) 沖縄県設備設計事務所協会
- 協賛 沖縄ガス(株)・沖縄電力(株)・(株) 沖縄日立・沖縄菱電ビルシステム(株)・パナソニックリビング九州(株)・(株) 総合資格・(有) PDT-duo 学校法人 kbc 学園グループインターナショナルデザインアカデミー・沖縄三和シャッター(株)・デジタルスタジオ ガラパゴ (株) 遠藤照明・(有) カーサ・(有) モブ・金秀建設(株)・米元建設工業(株)・(株) いしかわ文明堂・(株) デザインアーク・(株) タイムス住宅新聞社 (株) 三誠・(株) オキジム・(株) 東洋設備・(株) 鹿島技研 (順不同)

■ 審査委員会



委員長 島田 潤
JIA沖縄支部前支部長
(株) デザインネットワーク
代表取締役



委員 本庄 正之
JIA沖縄支部正会員
(有) アトリエノア
代表取締役



委員 久志 直輝
JIA沖縄支部正会員
スタジオジャグ
一級建築士事務所代表



委員 小林 志弘
JIA沖縄支部正会員
プラン建築設計事務所
代表



委員 石川 さかえ
JIA沖縄支部協会員
(有) カーサ
インテリアコーディネーター

■ 受賞者一覧

賞名	学校種別	学校名	受賞者氏名	作品名
最優秀賞	専修学校	インターナショナルデザインアカデミー	上江田 佳	経塚メモリアルパーク 自然墓地公園
島田賞	大学	琉球大学	松田 克将	ナガシタメテ ーマングローブ林と72個の水タンクー
本庄賞	大学	琉球大学	加藤 鈴菜	季節感へのコンプレックス ～建築の植物化～
久志賞	専修学校	インターナショナルデザインアカデミー	武藤 巧磨	はにかむ交流の場 コミュニティセンター
小林賞	工業高校	沖縄工業高校	立石 涼	海に見える高台に建つカフェと住宅
石川賞	工業高校	美里工業高校	親里 春児	月が見える図書館



(公社)日本建築家協会(JIA)沖縄支部

第19回-卒業設計作品選奨

作品募集

重要

最優秀受賞者:
JIA沖縄支部内務
交差点二丁目
設計コンペのファイナル
選考対象者
として
選考される

■趣旨
2015年度の卒業設計の中から優れた作品を選考表彰する。特に意匠的な独創性、社会性、場所性、将来性のある作品を期待する。

■表彰 表彰種別及び副賞

A. 大学部門	優秀賞 1点	佳作 1点
B. 短期大学・専門・専修学校部門	優秀賞 1点	佳作 1点
C. 工業高校部門	優秀賞 1点	最優秀賞 1点

※第一次審査にて各部門2名程度選出し、発表・質疑応答形式による二次審査にて最優秀賞、優秀賞を決定いたします。

■審査委員
審査委員長：島田 潤
(建築家・株式会社デザインネットワーク代表取締役/JIA沖縄支部前支部長/正会員)

■審査委員
本 庄 正 之
(建築家・株式会社デザインネットワーク代表取締役/JIA沖縄支部正会員)
久 志 直 輝
(建築家・スタジオジャック・建築士事務所代表/JIA沖縄支部正会員)
小 林 志 弘
(建築家・プラス建築設計事務所代表/JIA沖縄支部正会員)
石 川 達 夫
(有限会社 カーク インテリアコーディネーター/JIA沖縄支部副会長)

■応募規定
応募資格：県内の建築系学生及び生員自身またはグループの作品とする。(大学・短期大学・専修学校に在籍する出身(生員)を含む)
応募数：A. 大学部門 1名、他部門同
B. 短期大学 専門・専修学校部門
C. 工業高校部門
提 出：図面の大きさ、枚数及び表現方法は自由とし、設計の条件、趣旨等を適宜記載する。図面の中に作品名、学校名、氏名等を記載してもよい。投票の提出は認めない。
抽選・発表(生)公開審査に際し、随時参加可。
※応募者は、PDFデータの上CD-ROMの提出をお願いします。(両者を併用したプレゼン形式とする場合あり)
提出期限：2016年3月15日(火曜日)15時までに(郵送・受取の期日：当日預印可)
発表日時：2016年3月19日(土曜日)
公開審査 PM11:30～PM4:30 発表 PM4:30～5:00
※当日、公開審査・講評を行います。
各提出後、見本アトリエにて展示予定。
会 場：沖縄県立博物館・美術館県民アトリエ
沖縄県博物館内(沖縄県県民センター1階1号展示室)
表 彰 式：2016年5月14日(土曜日)15時～17時(県民センター)
公益社団法人日本建築家協会沖縄支部管内に授与予定
問い合わせ先・提出先：
〒901-2101 沖縄県那覇市西原1丁目4番26号 沖縄建築会館内
公益社団法人 日本建築家協会沖縄支部 卒業設計作品選奨
TEL: 098-943-8949 FAX: 098-943-9727

(公社)日本建築家協会(JIA)沖縄支部



第19回卒業設計作品選奨 講評

審査委員長 島田 潤

今回で、卒業設計作品選奨も19回を迎えることになりました。来年は、20回目という節目を迎えることになります。そして、第1回目の作品選奨に応募した学生が建築家として活躍する時代になって来ました。感慨深いものがあります。

しかしながら、ここ数年応募作品が減少していることは、気になることです。3月14 から18日まで日本建築家協会沖縄支部主催の琉球ロマン建築展「ケンチクかってなあに」は、若い人たちに建築家の仕事の魅力を発信するものであり、建築家を志す子供達を育てる企画として、タイムリーなものだったと思います。建築家を身近に感じ、沖縄の建築文化を担う若者が増えることを祈念します。

さて、今回の応募作品を見ると、それぞれが、社会への貢献を念頭に建築を考えていることや、社会性のある課題への取り組みの真剣さに、先述の不安を払拭して安堵します。

卒業設計は、まず自分で課題を探ることから始まります。真剣に考えることから、社会に対する自分なりの視点が生れます。そこに自ずと課題が見つかるものです。それに真摯に向き合うことで、提案力が試されます。課題を分析し、整理した上で新たな提案を行うのです。そして、それをカタチにしてプレゼンテーションを行います。図面化することで、想いを可視化します。全身全霊を込めて作品を仕上げる経験こそが、これまで建築を学んできたことの醍醐味です。冷静な分析力、問題解決能力、発想力、想像力、空間構成力、そして、体力と気力が必要です。建築を学び始めたばかりの学生が、全てを満たすことは困難です。それを補完することが、卒業してからの新たな課題となります。その新たな課題に気付かされる事が、卒業設計作品選奨の審査会でのプレゼンテーションと審査員との質疑応答かもしれません。自分の卒業設計作品に、審査員それぞれの思考と切り口でクリティークと質疑が行われるからです。これは、貴重な体験になると思います。この機会を逃す手はありません。是非、学生の皆さん参加しましょう。

前置きは、これくらいにして、今年の総評に入りたいと思います。今年は、先述した様に社会性に富んだ作品が印象に残りました。最優秀賞の上江田 佳くんの「経塚メモリアルパーク 自然葬墓地公園」は、市街地の既存墓地の問題から沖縄の伝統的葬送の思想までを深く掘り下げ、その先に自然葬墓地を提案する、卓越した提案でした。提案された施設も十分に美しいものだと私には、想像することが出来ました。ただ、惜しむらくは、息切れしたのでしょうか、その提案図面を具体的に可視化出来るまでに仕上げる事が望まれます。

松田克将くんの「 mangrove林と72個の水タンク」は、故郷の奄美大島の港湾埋め立てを憂慮し、それを改善するフェリーターミナルの提案でした。建築に mangroveを取り込んだ意欲的な作品です。発想力を裏付ける根拠に心許なさを感じたのが少し残念でした。

加藤鈴菜さんの「季節感へのコンプレックス」は、大好きな地元、与那原の大綱曳きの行事をより活性化させる建築の提案です。地元愛を建築に反映した、微笑ましい提案です。副題の「建築の植物化」は、今後も大いに探究して欲しいところです。

武藤巧磨くんの「はにかむ交流の場 コミュニティセンター」は、建築としての完成度が高く、その力量を高く評価します。コミュニティセンターが成立する必要条件の整理が出来ていれば、もっと説得力があったでしょう。

立石涼くんの「海が見える高台に建つカフェと住宅」は、具体性に富み、現実味のある秀逸な作品でした。今後の人生経験がより深く建築を掘り下げるきっかけになればと思います。

親里春児くんの「月が見える図書館」は、一般的な図書館の機能に自然界の月を眺める機能を付与する、ロマンチックで夢のある提案です。建築に対する夢を持ち続けて、これからも進んで欲しいものです。

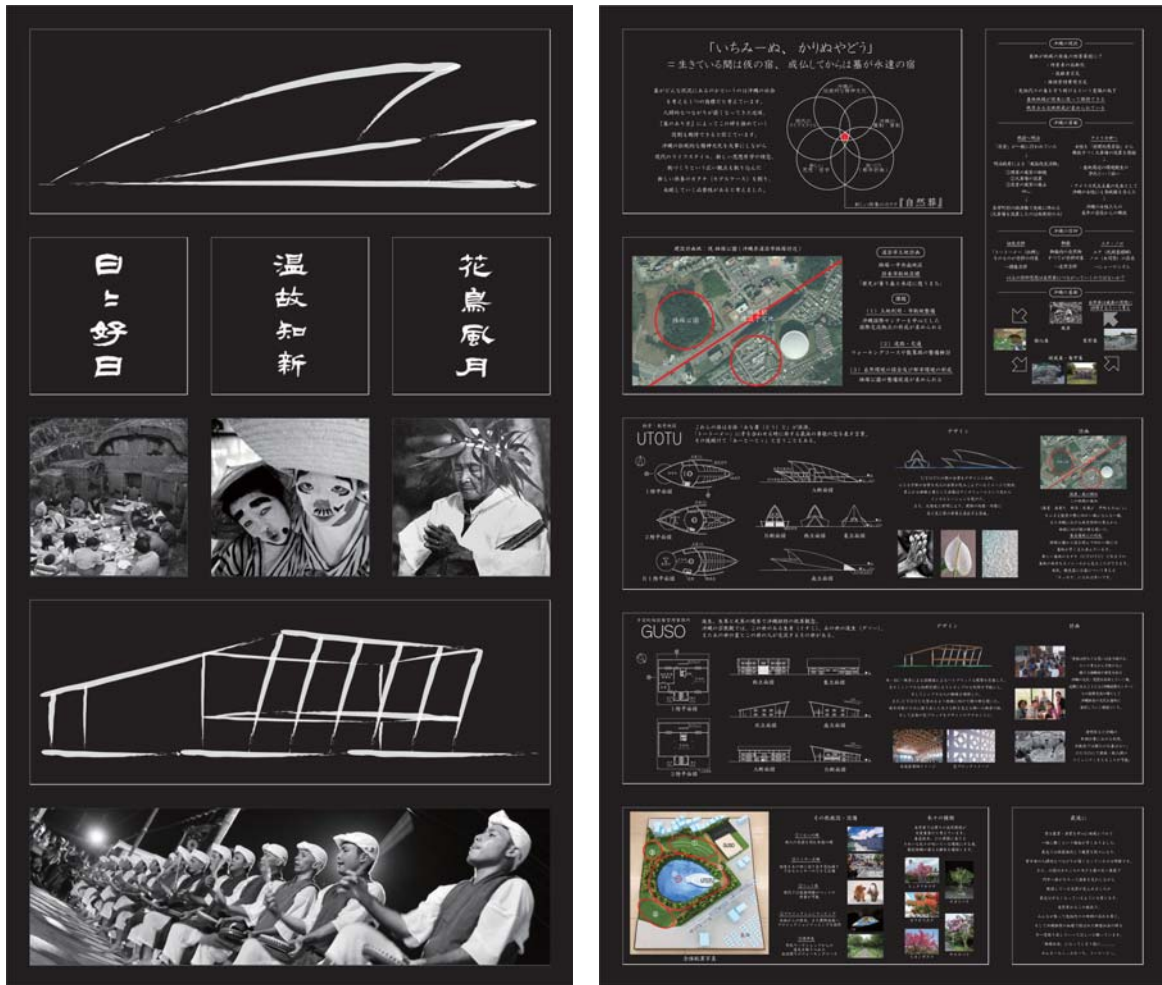
そして最後に、学生諸君と審査員の方々も熱心に、楽しく建築を語り、考えた一日は、私にとっても、有意義な魅力溢れる時間でした。皆様方から感謝申し上げます。



選奨作品 最優秀賞

作品：経塚メモリアルパーク 自然葬墓地公園

インターナショナルデザインアカデミー 上江田 佳



建築は時として社会的な問題を提起しなければならない時があります。

沖縄にとって御願事や埋葬のあり方は生活の一部であり、都市化で取り残された墓群の扱いは、私達が今後も考えざるを得ない問題です。

そのひとつの解決策として表現した作品ですが、同時にその問題を解いて沖縄社会の絆を取り戻したいとの思いが作品から感じられます。

ともすれば、マイナスイメージで捉われがちな埋葬・葬祭の施設をポジティブな感覚で表現した感性と問題に着眼した発想力に人間味を感じます。

沖縄の埋葬を取り巻く歴史的背景から始まり、地域の問題のあり方に至るまで細かく調査・分析する力、結論として自然葬・散骨の行為を行う「場」をその行為のみに留まらず交流や「学びの場」として定義付け創造する力は評価できます。

建築としての表現には、まだまだ表現不足や未熟な部分も多く見受けられます。しかし、問題提起から解決のし方、カタチに至るまでの流れの一貫した思慮深い姿勢は、総合的に見て他の作品より優れているものがあつたので、最終的には審査委員の総意で最優秀とした。

全体を通し、表現することのセンスの良さに可能性を感じさせられました。

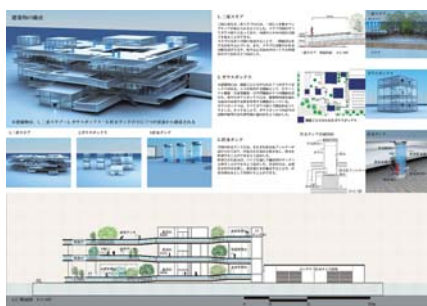
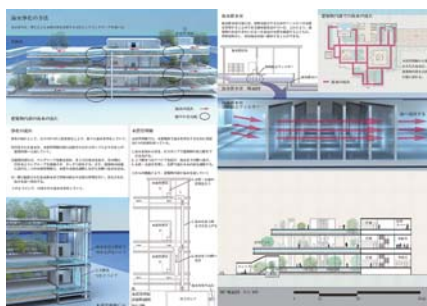
今後も建築を学び、成長することで、建築作品としての表現力が増すことを楽しみにしたい。

(講評：本庄 正之)

選奨作品 島田 賞

作品：ナガシタメテー マングローブ林と72個の水タンクー

琉球大学 松田 克将



松田克将くんの「マングローブ林と 72 個の水タンク」は、奄美大島の港湾埋め立てによる海水の水質汚染をマングローブの林で浄化するという画期的な試みである。フェリーターミナルを 3 層のダブルスラブの構造で構成し、その二重スラブの中に海水を導入して、そこにマングローブを植えるという発想は、ユニークであり、建築とマングローブの林が立体化されたランドスケープとして成立していることは、大いに評価できる。自然と建築が一体となり、それが環境浄化装置となることは、これからの建築を予感させるものであり、見ていて楽しい。また、3 層のダブルスラブを貫通する諸室をガラスで構成したデザインへの配慮も窺える。

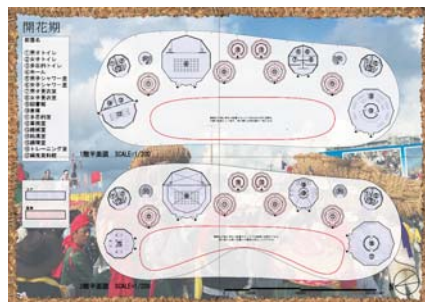
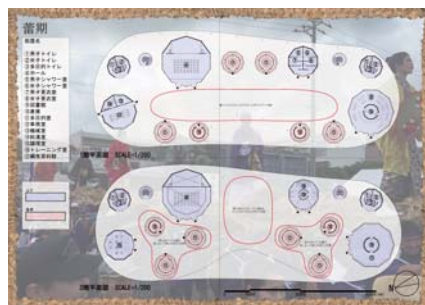
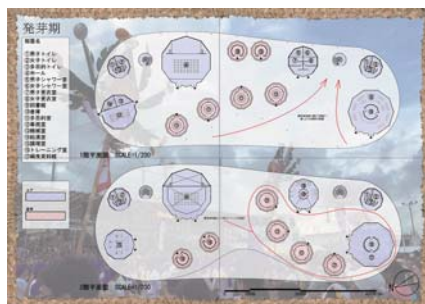
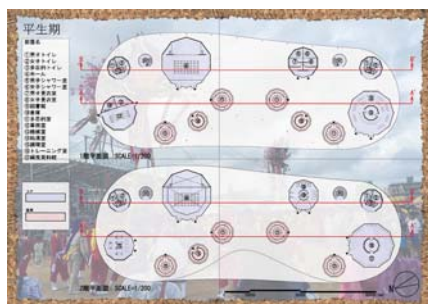
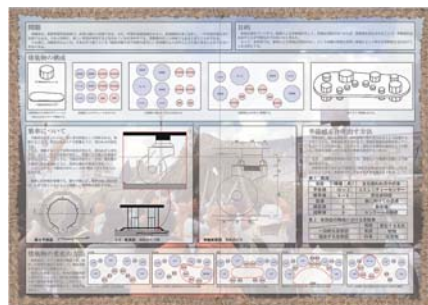
しかしながら、汚染水の分析やその水質浄化にマングローブが有効なのか疑問が残る。また、多くの乗降客の動線の誘導や、魅力的に立体化されたマングローブの林を散策するルートを確認する昇降動線の配慮に拙さを感じる事が残念だ。今後は、その卓越した発想力と空間構成力を大いに発揮できるような、分析力を身につけて欲しい。

(講評：島田 潤)

選奨作品 本庄賞

作品：季節感へのコンプレックス ～建築の植物化～

琉球大学 加藤 鈴菜



沖縄には本土の様な「はっきりとした季節感が無い」と感じ、そのコンプレックスを建築で解決したいと試みた作品です。建築の可変空間への試みはこれまでも多種あったが、季節の移り変わりを建築空間の変化で表現する試みの発想には類が無く、着眼に感心させられた。

地域の行事を行う風景を、季節感の現れと捉え、建築に置き換え表現する試みや、行事の作業行為による建築空間の変化を季節に見立て、空間の移り変わる様を植物の様に発芽期から結実期に例えて表現する独自の手法には優れた感性を感じた。固定された「コア空間」と移動可能な「葉車と称する空間」の組み合わせの可変システムで内部空間の変化を可能にし、それを移り変わる季節に置き換えて建築空間を創りだしているが、形態を季節感としてどう見せるかの表現に物足りなさを感じた。

地域のシンボル行事を綱引きと捉え、それに固執し過ぎたことが、沖縄の季節感の表現を多様にイメージすることができなかつたのではないかと惜まれる。

発想には素晴らしいものがあるので、調査・分析力・総合的な表現力を付けると、今後が楽しみな作品です。

(講評：本庄 正之)

選奨作品 久志 賞

作品：はにかむ交流の場 コミュニティセンター

インターナショナルデザインアカデミー 武藤 巧磨



モノレール古島駅前の再開発地区に、作者の幼少期の記憶をヒントに子供たちの集まる託児所を中心としたコミュニティ施設。密な集合体を築くというコンセプトを、六角形のハニカムの連続で空間を構成して展開する計画を評価しました。広場を囲うように託児スペースや多目的室、和室など各エリアが配置され六角形のつながりがファサードとなって、さらに2階には音楽室やテラスがあり楽しそうな施設であることが伝わります。モノレールからみえる建物の表情も良いです。計画の内容としてせっかくハニカムの展開で平面計画をしているので、断面計画にもその工夫が欲しかったです。また裏の団地の居住者のための施設なのか、古島地区のための施設なのかははっきりと対象者を想定した配置や動線計画の検討、より具体的な賑わいの仕掛けがあったらと感じました。ハニカム構造からのデザインの着眼点、六角形をきれいにまとめた平面計画やプレゼン資料作成は上手でしたし、武藤君の今後の活躍に期待致します。

(講評：久志 直輝)



選奨作品 小林 賞

作品：海が見える高台に建つカフェと住宅

沖縄工業高校 立石 涼



小林賞を受賞した立石さんの作品名は「海が見える高台に建つカフェと住宅」。作者自身が敷地を決定して、具体的な建築案を図面／CGまで含めて作成した作品でした。高校での3年間しか建築を勉強していないにもかかわらず、全体の完成度が高い作品に大変魅力を感じました。

「カフェ＋住宅」という職住近接の建物を計画するにあたり、敷地／ロケーションの捉え方からそこに住まう家族の日常生活、カフェ来客者に対する視点、カフェの具体的な利用方法など、様々な事柄を複合的に検討すべき必要があります。それらについて、立石さんは彼なりの視点で「答え」を持っていました。建築的にはまだまだ検討すべき点や改善すべき点がありましたが、「意思を持って建築をつくろうとする姿勢」について、私は大変評価したいと思います。審査員から敷地形状の想定不足、大きなガラス窓の西日対策、職住近接に対する掘り下げた検討の必要性など、様々な指摘がありました。それらの指摘は彼の今後の糧になると思います。

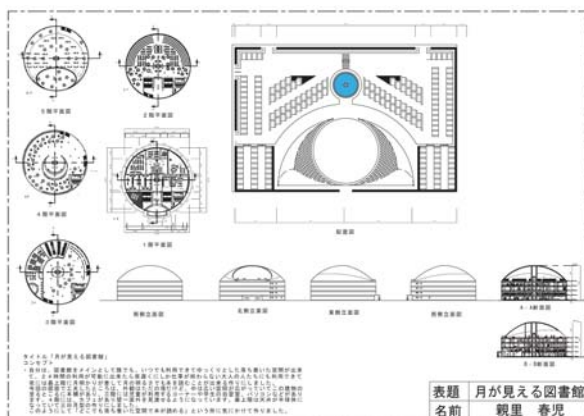
立石さんの今後の活躍に期待したいと思います。

(講評：小林 志弘)

選奨作品 石川 賞

作品：月が見える図書館

美里工業高校 親里 春児



デジタル化が進み、活字離れが危惧されて久しい。今回の応募作品の中、私が最も心惹かれた表題である。建築のコンセプトは「どこでも落ち着いた空間で本が読める」建物は円形で5層から成り立つ。空間のあちこちに本棚を配置し、おそらく思い思いの場所を見つけて大好きな本との時間が楽しめる。

最上階は屋根が丸く切り取られ、半球体のバルコニーでは月のあかりで読書というファンタジックな世界へと誘う。内部は会議室、カフェ、子供コーナーなど地域の中で“つながり”と“育む”ことを感じさせる。

ただ、空間の広がりや関連性が図面だけではなかなか読み取ることができず、内観パースやスケッチなどがあった方がより理解できたように思う。

今回、プレゼンテーションの場での参加がなかったの

だが、図面に表現されていない素材のことや工夫した点、作品への想いなど質問をしてみたかった。

ひとつ感じた点としては、各階層で空間が分断されているように思う。建物の内部に入ってから、最上階のシンボリックな屋上へつながっていく流れに何か工夫があると良かったのではないかな。

これからも大いに夢を持って魅力ある建築を目指していくことを期待したい。

(講評：石川 さかえ)

| 2015年度 JIA |

リフレッシュセミナーに参加して

建築家協会沖縄支部

プラン建築設計事務所 小林 志弘



私は、建築家協会に入会して約1年が経ちました。入会理由のひとつに、建築家協会のセミナーに参加していろいろな方との交流を深めつつ、建築的な知識を増やしていきたいという思いがあり、今回参加したリフレッシュセミナーはまさにそれにうってつけのイベントでした。沖縄支部の先輩方の勧めもあり、募集とともに真っ先に手を上げて参加することになりました。

ただ、セミナーに先立ちプログラム概要を教えてくださいましたが、どのような事を行うのか正直なところあまりイメージできませんでした。そして、半信半疑な気持ちのままセミナーに参加しました。

今回のセミナーテーマは「コルビュジェ」。個人的にコルビュジェは好きでも嫌いでもありませんでしたが、いくつかの建物は実際に訪れたことがあり、コンセプトが明確なそれぞれの建築を肌で感じて感動したのを今でも覚えています。

そんな「コルビュジェ」について、他の参加者とともにどのようにディスカッションすればよいのだろうか？そこが一番のクエストでした。

ただ、その杞憂はまったく必要ありませんでした。

建築家の山名善之さん、富永譲さんのセミナーはコルビュジェをいろいろ研究なされている視点での講義で、多分、建築家協会以外では聞けないような内容ではないかと思います。山名さんの講義ではコルビュジェの建築群を世界遺産に認定させたいという世界各国の方々の想いや取組み手法などを学び、富永さんの講義ではコルビュジェ24才の旅を元に、コルビュジェの原点を探る研究について、とても示唆に富んだお話を聞く事ができて、自分なりに学んだコルビュジェ像との比較をすることができました。そして、今回一番有意義だったのは参加者をグループ別に分けたディスカッションでした。

参加それぞれのコルビュジェに対する想いの違いが様々で、なぜそうなのかという話を聞くことが出来て、そのような話を通して参加者それぞれの日常の建築に対する問題意識の違い、地域性の違い、または共有できる部分などを感じとることができました。全国各地で活躍なされている建築家の方々とコルビュジェに対する議論を交わし、プレゼンボードを作り、プレゼンテーションをする。こういうことができるのもまた、建築家協会だけではないかと思います。

また、セミナー期間中は懇親会もあり、直接講師の建築家の方々や参加者の方々と直接交流できた事はとても嬉しかったです。

今回の経験は、私自身の今後の実務にとっても生きていくと思います。また、同じ時代をこれから生きていく全国の建築家の方々と交流できたことは自分自身の財産になりました。

最後になりますが、このような機会を作って頂いた関係者の方々に心より感謝いたします。ありがとうございました。



JIA 沖縄支部 新規正会員



KENICHI FURUGEN
古堅 健一

建築家へ、初志貫徹

経歴
1985年 琉球大学工学部建設工学科卒業
1985年～ (株)環境デザイン研究所
1987年 第一回久茂地川に清流を
アイデアコンペ最優秀賞受賞
2001年 一級建築士事務所エフ エー ディ設立



TAKESHI HATAKEYAMA
畠山 武史

経歴
1997年 神奈川大学工学部建築学科卒業
1997年 (株)積水ハウス
2005年 (有)アトリエ・門口
2015年 (株)クレールアーキラボ設立

以前より日本建築家協会の活動・運営に共感しておりました。
入会し、ますます建築家として自らを研鑽していきたいと思っております。



SHINICHI KOBAYASHI
小林 進一

経歴
1996年 東洋大学工学部建築学科
2010年 コバヤシ 401 Design room 設立

これまでの設計活動での経験を生かし「社会・文化に貢献できる建築」、「人々を幸せにする建築」をつくっていったらと考えております。そのためにも自分自身の見聞を広げて、より広くより深く建築について考え続けていければと思います。



HIROTSUGU TOMITA
富田 浩嗣

経歴
1988年 千葉工業大学工学部建築学科
1992年 富田浩嗣建築研究所設立

日本建築家協会の一員として、また一個人の建築家として建築を愛し常に「建築とは何か」を追求し前進する覚悟をもち続け建築界の発展とともに社会貢献していきたいと思っております。





TAKESHI YASUTANI
安谷 健

経 歴

1989年 琉球大学工学部建設工学科卒業
1991年 (株)国建

日本建築家協会は建築家の資質の向上及び業務の進歩改善を図ることを通じて建築物の質の向上と建築文化の創造発展に貢献することを目的として結成された団体であることを十分認識しております。
私は会員の皆様との交流や様々な活動を通してますます建築家として自己研鑽を行い社会公共のために貢献していきたいと考えております。



TSUYOSHI OSHIRO
大城 剛

経 歴

1983年 琉球大学工学部建設工学科卒業
1984年 (株)国建
1990年 那覇市役所本庁舎の美化デザイン設計競技最優秀賞
2011年 建築士会第10回設計競技
「一般社団法人沖縄県助産師会母子未来センター」
最優秀作品賞

日本建築家協会は建築家の資質の向上および業務の進歩改善を図ることを通じて建築物の質の向上と建築文化の創造・発展に貢献することを目的として結成された団体であり、この目的のため建築家憲章、倫理規定、行動規範および懲戒規定を会員の総意に基づいて定め自主自律の団体運営を行っていることを認識しております。
その建築家として順守すべき倫理規定は、建築家として最も大切なことであると共感しております。今後も建築家として自らを研鑽していきたいと思っております。



JIA 沖縄支部 新規法人協力会員

(株)鹿島技研 ISベース事業部

代表取締役社長 原中 朋幸

■〒820-0506 福岡県嘉麻市平山753-5
■TEL:0948-62-2828
■FAX:0948-62-2877
■E-mail:kajima-is@earth.ocn.ne.jp

東武トップツアーズ (株)沖縄支店

支店長 佐藤 真一

■〒900-0015 沖縄県那覇市久茂地3-1-1
日本生命那覇ビル2F
■TEL:098-868-8822
■FAX:098-868-8842
■E-mail:hitomi_koba@tobutoptours.co.jp
■URL:http://tobutoptours.jp/

エーアンドエー(株)

代表取締役社長 川瀬 英一

■〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台2-3-15
■TEL:03-3518-0121
■FAX:03-3518-0122
■E-mail:shiozawa.shigeyuki@aanda.co.jp
sato.kazutaka@aanda.co.jp

2016年度 公益社団法人 日本建築家協会 (JIA) 沖縄支部会員名簿 (2016年4月1日現在)

赤 嶺 和 雄	〒901-0153 那覇市宇栄原 3-15-17 ビレッジさつき 202 ㈱設計同人 G A N 代表取締役	T E L : 098-858-3800 / F A X : 098-858-3802 E-mail : aka-gan@hop.ocn.jp U R L : http://www.aka-gan.com
石 川 幸 延	〒905-0011 名護市宇宮里 453-7 ㈱A M S 設計 代表取締役	T E L : 0980-52-5183 / F A X : 0980-53-6598 E-mail : nago@ams1938.com U R L : http://www.ams1938.com/
伊志嶺 敏 子	〒906-0012 宮古島市平良字西里 269 伊志嶺敏子一級建築士事務所 所長	T E L : 0980-72-2116 F A X : 0980-72-3194 E-mail : ishimine@orange.ocn.ne.jp
伊良波 朝 義	〒902-0072 那覇市真地 169-1 ㈱義空間設計工房 代表取締役	T E L : 098-888-5303 / F A X : 098-888-5304 E-mail : t.iraha@gikuukan.com U R L : http://www.gikuukan.com/
運 天 勲	〒901-2131 浦添市牧港 2-8-4 ㈱渡久山設計 代表取締役	T E L : 098-876-1101 / F A X : 098-876-8880 E-mail : banyan-untent@tae.co.jp U R L : http://www.tae.co.jp/
運 天 浩	〒900-0021 那覇市泉崎 1-12-12 泉コーポ 1 F ㈱名工企画設計 管理建築士	T E L : 098-868-9491 F A X : 098-868-9493 E-mail : meikou@beach.ocn.ne.jp
小 倉 暢 之	〒903-0213 西原町千原 1 琉球大学工学部環境建設工学科 教授	T E L : 098-895-8654 F A X : 098-895-8677 (学部事務局) E-mail : oguranob@tec.u-ryukyuu.ac.jp
大 浜 英 和	〒907-0022 石垣市字大川 287-5 匠設計室 代表者	T E L : 0980-82-3550 F A X : 0980-82-9381 E-mail : burus-5431@joy.ocn.ne.jp
大 嶺 亮	〒901-2102 浦添市前田 1-9-17 大牧開発ビル 2F ファイブディメンジョン 所長	T E L : 098-874-3220 / F A X : 098-874-3237 E-mail : makoto@fivedim.com U R L : http://www.Fivedim.com/
門 口 安 則	〒904-2244 うるま市江洲 595-4 ㈱アトリエ門口 主宰	T E L : 098-974-3554 / F A X : 098-974-3588 E-mail : yasunori@kadoguchi.net U R L : http://www.kadoguchi.net/
上 村 彰	〒901-2224 宜野湾市真志喜 2-16-6-102 ㈱チームアルファ 取締役	T E L : 098-890-6000 / F A X : 098-890-0005 E-mail : kmmr@team-alpha.jp U R L : http://www.team-alpha.jp
金 城 傑	〒903-0814 那覇市首里崎山町 2-13 ㈱K・でざいん 代表取締役	T E L : 098-835-5518 / F A X : 098-835-5519 E-mail : suguru@k-design-co.jp U R L : http://kdesign.main.jp/
金 城 司	〒901-1117 南風原町字津嘉山 750-1 ㈱門一級建築士事務所 取締役	T E L : 098-888-2401 / F A X : 098-888-2404 E-mail : jo1q@ec5.technowave.ne.jp U R L : http://www.jo1q.com/
金 城 優	〒901-2132 浦添市伊祖 1-32-1 伊祖ビル 202 有限会社 門 代表取締役	T E L : 098-870-0303 / F A X : 098-876-5159 E-mail : mk@jo-ds.com U R L : http://www.jo-ds.com/
金 城 義 治	〒901-0614 南城市玉城奥武字 275-3 シーサイドビュー 205 金城義治建築設計室 代表	T E L : 098-948-2516 F A X : 098-948-2516 E-mail : kinjyo-2516@ac.auone-net.jp
久 高 多美子	〒900-0014 那覇市松尾 1-9-40 フリーデ古城 3 F ㈱東設計工房 専務取締役	T E L : 098-917-5000 / F A X : 098-917-5001 E-mail : tameco@azumas.com U R L : http://www.azumas.com/
国 吉 真 正	〒901-2113 浦添市大平 2-19-11 ㈱イー・アール・ジー 会長	T E L : 098-877-5556 / F A X : 098-877-5642 E-mail : arg@arg2000.co.jp U R L : http://www.arg2000.co.jp
慶佐次 操	〒900-0021 那覇市泉崎 1-12-12 泉コーポ 1F ㈱名工企画設計 代表取締役	T E L : 098-868-9491 / F A X : 098-868-9493 E-mail : meikou@beach.ocn.ne.jp U R L : http://www.mkok.jp
國 場 幸 房	〒900-0015 那覇市久茂地 1-2-20 ㈱国建 名誉会長	T E L : 098-862-1106 / F A X : 098-862-5072 E-mail : yukifusa_kokuba@kuniken.co.jp U R L : http://www.kuniken.co.jp/
小 林 文 男	〒901-2114 浦添市安波茶 1-32-13 ㈱ワールド設計 代表取締役	T E L : 098-878-2215 / F A X : 098-879-0417 E-mail : kobabun@world-sekkei.jp U R L : http://www.world-sekkei.jp
古 見 輝 夫	〒902-0061 那覇市古島 1-25-4 比嘉産業ビル 201 号 ㈱協和設計事務所 代表取締役	T E L : 098-886-3330 F A X : 098-886-3355 E-mail : okyowa@orange.ocn.ne.jp

島田 潤	〒900-0027 那覇市山下町 1-24 サンビル 3F ㈱デザインネットワーク 代表取締役	T E L : 098-858-2008 / F A X : 098-858-2009 E-mail : dnjun2008@gmail.com U R L : http://www.dn-okinawa.com
平良 俊夫	〒901-2132 浦添市伊祖 1-32-6 ㈱フォーム建築研究所 代表取締役	T E L : 098-877-2455 F A X : 098-870-5182 E-mail : form@mocha.ocn.ne.jp
武岡 光明	〒901-2301 北中城村字島袋 1355 カントリーハイツ 14 一級建築士事務所 T・武岡建築設計室 代表	T E L : 098-933-2968 F A X : 098-933-2999 E-mail : takeoka@cosmos.ne.jp
玉那覇 有紀	〒903-0823 那覇市首里大中町 1-41-3 ㈱有建築事務所 代表取締役	T E L : 098-887-7922 F A X : 098-887-2732 E-mail : yu_ken@d3.dion.ne.jp
知念 信正	〒904-2215 うるま市みどり町 1-1-6 平川ビル 3F 新環境㈱ 代表取締役	T E L : 098-982-6788 / F A X : 098-982-6550 E-mail : n-chinen@shinkankyo.jp U R L : http://www.shinkankyo.jp/
當間 卓	〒900-0023 那覇市楚辺 3-3-11 ㈱泉設計 代表取締役	T E L : 098-832-1302 / F A X : 098-855-6788 E-mail : t-toma@izmarc.co.jp U R L : http://www.izmarc.co.jp/
中島 鉄臣	〒901-2113 浦添市大平 1-2-20 ㈱エル設計 代表取締役	T E L : 098-878-0085 / F A X : 098-874-1752 E-mail : info@el-okinawa.jp U R L : http://el-okinawa.jp
仲宗根 徹	〒905-0011 名護市宮里 3-4-7-1 号 ㈹ナカソネ設計 取締役	T E L : 0980-52-2797 / F A X : 0980-52-0657 E-mail : toru.n@nakasone-sekkei.co.jp U R L : http://www.nakasone-sekkei.co.jp
仲間 郁代	〒904-1201 金武町字金武 8038-30 仲間郁代建築設計事務所 (株) 代表取締役	T E L : 098-968-4827 / F A X : 098-968-3767 E-mail : office@ikuyo-nakama.jp U R L : http://www.ikuyo-nakama.jp/
仲元 典允	〒902-0069 那覇市松島 2-1-8 ㈱現代設計 代表取締役	T E L : 098-979-9070 / F A X : 098-979-9071 E-mail : gendai@ii-okinawa.ne.jp U R L : http://gendaisekkei.com/
永山 盛孝	〒900-0015 那覇市久茂地 1-8-19 団設計工房 所長	T E L : 098-863-2355 / F A X : 098-863-2359 E-mail : nagas@violin.ocn.ne.jp U R L : http://www.dansekkei.jp
西里 幸二	〒901-0231 豊見城市字我那覇 382-1-201 一級建築士事務所 西設計 主宰	T E L : 098-852-2888 F A X : 098-852-2889 E-mail : a-nishi@m1.cosmos.ne.jp
西山 庸二	〒904-0105 北谷町字吉原 993-5	T E L : 098-936-2004 F A X : 098-936-2004
根路銘 安弘	〒900-0032 那覇市松山 2-8-17 ㈱根路銘設計 会長	T E L : 098-868-7477 F A X : 098-868-9452 E-mail : nero@nerome-sekkei.co.jp
野原 勉	〒901-0151 那覇市鏡原町 21-1 ㈱都市建築設計 代表取締役	T E L : 098-858-1002 / F A X : 098-858-2081 E-mail : toshiken_tsutomu@yahoo.co.jp U R L : http://toshikenchikusekkei.com
長谷部 廣	〒904-2173 沖縄市比屋根 2-11-5 つぼみビル ㈹長谷部建築研究所 代表取締役	T E L : 098-930-0874 / F A X : 098-930-0917 E-mail : info@hasebeokinawa.com U R L : http://www.hasebeokinawa.com
比嘉 伝英	〒905-0013 名護市城 1-7-11 山葉商会ビル 302 号 美音 SpaceDesign ㈱ 代表取締役	T E L : 0980-54-4500 / F A X : 0980-54-4510 E-mail : web@bionsd.co.jp denei-h@bionsd.co.jp U R L : http://www.bionsd.co.jp
比嘉 盛朋	〒900-0015 那覇市久茂地 1-2-20 ㈱国建 代表取締役社長	T E L : 098-862-1106 / F A X : 098-868-3882 E-mail : moritomo_higa@kuniken.co.jp U R L : http://www.kuniken.co.jp/
福田 俊次	〒900-0015 那覇市久茂地 1-2-20 ㈱国建 常務取締役	T E L : 098-862-1734 / F A X : 098-862-5072 E-mail : shunji_fukuda@kuniken.co.jp U R L : http://www.kuniken.co.jp/
藤元 節男	〒901-2122 浦添市勢理客 1-16-1 301 節・アーキテクツ 主宰	T E L : 050-3372-7565 F A X : 098-993-7885 E-mail : lequios@bronze.ocn.ne.jp
外間 勉	〒900-0022 那覇市樋川 2-14-16 ㈹外間建築設計事務所 代表取締役	T E L : 098-855-7572 / F A X : 098-855-7580 E-mail : t-hokama@hokama.co.jp U R L : http://www.hokama.ti-da.net/

本庄正之	〒902-0067 那覇市安里 418 コーポティブひめゆり 4 F (有)アトリエノア 代表取締役	T E L : 098-884-2404 / F A X : 098-884-0935 E-mail : call@a-noa.co.jp U R L : http://www.a-noa.co.jp
前田 慎	〒903-0803 那覇市首里平良町 1-29-8-102 アアキ前田 (株) 代表取締役	T E L : 098-943-2662 / F A X : 098-943-2661 E-mail : 888 @ maeda.okinawa U R L : http://www.maeda.okinawa
松田幸吉	〒900-0012 那覇市泊 2-1-10 (有)設計集団 閃 代表取締役	T E L : 098-863-5970 F A X : 098-863-5973 E-mail : tom2110@orange.ocn.ne.jp
松山喜治	〒900-0015 那覇市久茂地 1-2-20 (株)国建 専務取締役	T E L : 098-862-1106 / F A X : 098-868-3882 E-mail : Yoshiharu_Matsuyama@kuniken.co.jp U R L : http://www.kuniken.co.jp/
美濃 祐央	〒901-2225 宜野湾市大謝名 5-7-5 コーポ G ヴェルテ 201 一級建築士事務所 mino archi- lab	T E L : 098-890-2870 / F A X : 098-890-2871 E-mail : mino@info-mal.com U R L : http://info-mal.com
宮平隆雄	〒903-0825 那覇市首里山川町 3-61-9 (株)宮平設計 代表取締役	T E L : 098-886-1238 F A X : 098-886-1445 E-mail : tm-billhant@iris.ocn.ne.jp
山城東雄	〒900-0014 那覇市松尾 1-9-40 フリーデ古島 3F (株)東設計工房 代表取締役	T E L : 098-917-5000 / F A X : 098-917-5001 E-mail : a.yama@azumas.com U R L : http://www.azumas.com/
根路銘 剛次	〒900-0032 那覇市松山 2-8-17 (株)根路銘設計 代表取締役	T E L : 098-868-7477 / F A X : 098-868-9452 E-mail : takatsugu@nerome-sekkei.co.jp U R L : http://www.nerome-sekkei.co.jp
島袋勝也	〒905-0425 今帰仁村字与那嶺 223-1 建築設計工房 Paraya 代表者	T E L : 0980-56-2955 F A X : 0980-56-2955 E-mail : paraya@viola.ocn.ne.jp
下地鉄郎	〒901-2114 浦添市安波茶 1-53-13 (株)クロトン 代表取締役	T E L : 098-877-9610 / F A X : 098-878-9613 E-mail : croton@croton.jp U R L : http://www.croton.jp
立津秀樹	〒903-0126 西原町字棚原 299-3 (有)プラネット一級建築士事務所 代表者	T E L : 098-979-6698 F A X : 098-979-6697 E-mail : planet@comet.ocn.ne.jp
城間 俊	〒901-2213 宜野湾市志真志 1-8-1 (株)具志堅建築設計事務所 建築設計部長兼執行役員	T E L : 098-892-1017 / F A X : 098-892-1025 E-mail : suguru.shiroma@gushikena-e.net U R L : http://www.gushikena-e.com
上江田 正	〒901-0153 那覇市宇栄原 2-24-7 3F (有)G A 2 設計 所長	T E L : 098-857-2826 F A X : 098-857-2827 E-mail : ga2@salad-jp.com
池間 守	〒901-2113 浦添市大平 2-19-11 (株)イー・アール・ジー 代表取締役社長	T E L : 098-877-5556 / F A X : 098-877-5642 E-mail : ikema.mmr@arg2000.co.jp U R L : http://www.arg2000.co.jp
久田友一	〒904-2245 うるま市赤道 359-1 久友設計(株) 代表取締役	T E L : 098-974-4327 / F A X : 098-974-4367 E-mail : hisatomo@f5.dion.ne.jp U R L : http://www.hisatomo-p.com
高増和明	〒901-0155 那覇市金城 2-8-4 一級建築士事務所 SOFT21 代表者	T E L : 098-859-5444 F A X : 098-859-5444 E-mail : takamasu@soft-21.co.jp
伊波米次	〒901-2221 宜野湾市伊佐 2-6-10 (有)アイ・エイチ・エー設計	T E L : 098-890-1325 F A X : 098-890-1327 E-mail : iha@iha-design.jp
小林志弘	〒904-0313 読谷村字大湾 536 島袋アパート 1 F プラン建築設計事務所	T E L : 098-989-0222 F A X : 098-989-0284 E-mail : mail@plaso.jp
末松信吾	〒905-0018 名護市大西 1-15-5 (株)エスエヌジーデザイン	T E L : 0980-51-0322 F A X : 0980-51-0323 E-mail : suematsu@sng-design.com
安富祖 理絵	〒901-2102 浦添市前田 4-7-2 合同会社 アン一級建築事務所 代表社員	T E L : 098-894-2798 / F A X : 098-879-6733 E-mail : afuso@anne-archi.jp U R L : http://anne-archi.jp/
久志直輝	〒901-2126 浦添市宮城 3-7-5-101 studio jag 1 級建築事務所 代表	T E L : 098-874-2055 F A X : 098-874-2055 E-mail : kushi@studio-jag.net

細 矢 仁	〒 901-2201 宜野湾市新城 2-33-5-103 一級建築士事務所 細矢仁建築設計事務所 代表	T E L : 098-955-4695 / F A X : 03-3413-1618 E-mail : info@jinhosoya.com U R L : http://www.jinhosoya.com
古 堅 健 一	〒 901-2121 沖縄県浦添市内間 2-1-2 国仲ビル 3F 一級建築士事務所 エフ エー ディ 代表	T E L : 098-874-8066 / F A X : 098-874-8067 E-mail : fad@rio.odn.ne.jp U R L : http://www2.odn.ne.jp/fad
島 山 武 史	〒 904-1111 沖縄県うるま市石川東恩納 488-1 ㈱クレールアーキラボ 代表取締役	T E L : 098-955-1823 / F A X : 098-955-1823 E-mail : info@clairarchilab.com U R L : http://www.clairarchilab.com/
小 林 進 一	〒 145-0064 東京都大田区上池台 3-34-1 コバヤシ 401.Design room 代表	T E L : 03-5499-5279 F A X : 03-5499-5009 E-mail : s_kobayashi@kobayashi401.com
富 田 浩 嗣	〒 901-1512 沖縄県南城市知念吉富 391 富田浩嗣建築研究所 代表	T E L : 098-948-4221 F A X : 098-948-4221 E-mail : hirotm@yahoocoo.jp
安 谷 健	〒 900-0015 沖縄県那覇市久茂地 1-2-20 O T V 国和プラザビル ㈱国建 建築設計部 執行役員部長	T E L : 098-862-1734 F A X : 098-862-5072 E-mail : takeshi_yasutani@kuniken.co.jp
大 城 剛	〒 900-0015 沖縄県那覇市久茂地 1-2-20 O T V 国和プラザビル ㈱国建 建築設計部 執行役員部長	T E L : 098-862-1238 F A X : 098-862-5072 E-mail : tsuyoshi_oshiro@kuniken.co.jp

公益社団法人 日本建築家協会 (JIA) 沖縄支部 フェロー会員名簿 (2016年4月1日現在)

又 吉 清 春	〒 901-2101 沖縄県浦添市西原 1-4-26 沖縄建築会館 日本建築家協会沖縄支部 参与	T E L : 098-941-1064 F A X : 098-941-1079 E-mail : kiyoharu.2000@eos.ocn.ne.jp
---------	--	--

公益社団法人 日本建築家協会 (JIA) 沖縄支部 ジュニア会員名簿 (2016年4月1日現在)

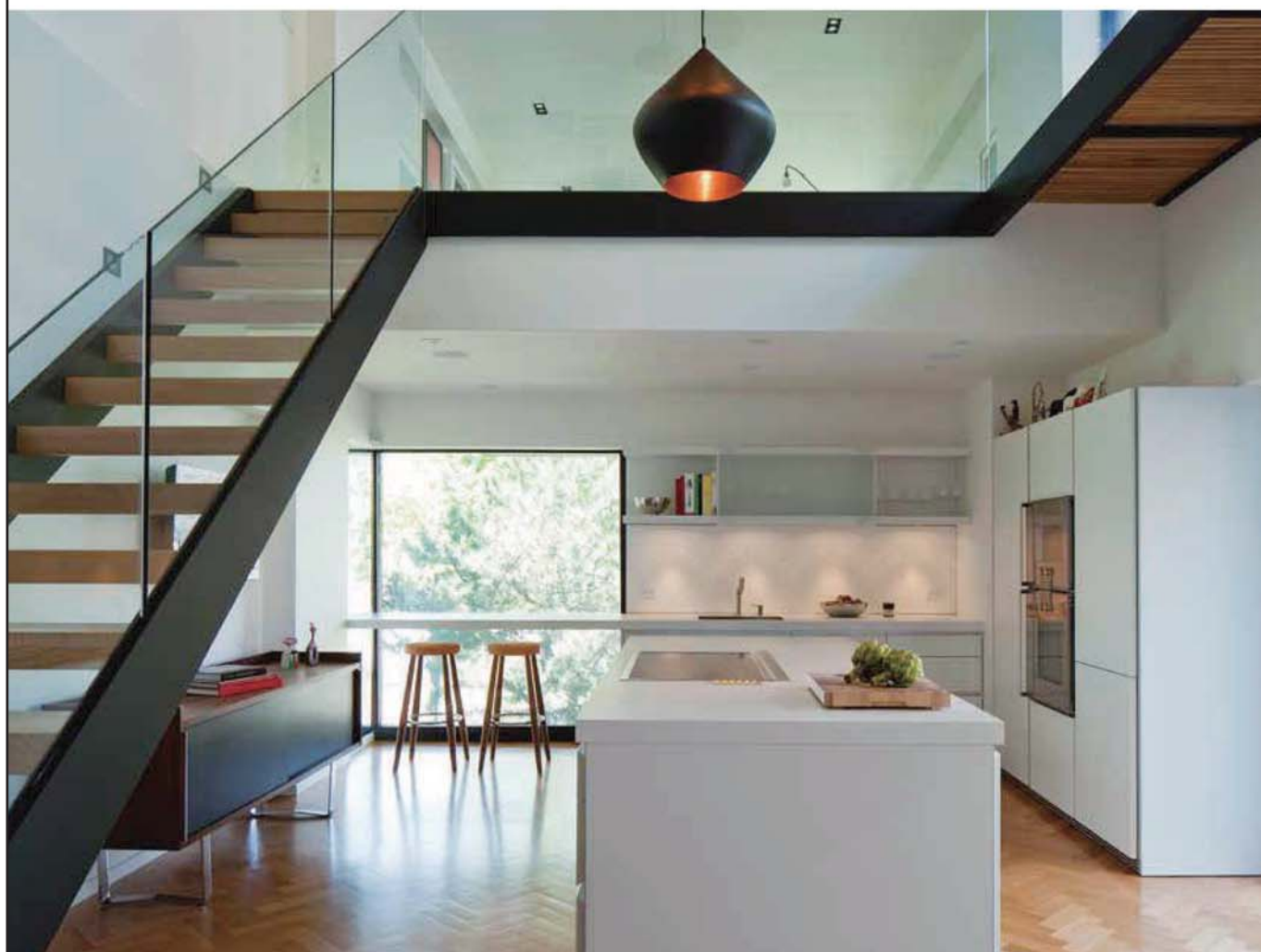
具志堅 華 絵	〒 901-2213 宜野湾市志真志 1-8-1 株式会社 具志堅建築設計事務所	T E L : 098-892-1017 F A X : 098-892-1025 E-mail : hanae@gusikena-e.net
五十嵐 敏 恭	〒 901-0513 八重瀬町字坡名城 884-1 グランパ 23 2-A STUDIO COCHI ARCHITECTS	T E L : 090-5824-4027 F A X : 098-998-7743 E-mail : toshi-igarashi@skyblue.ocn.ne.jp
町 田 光	〒 900-0014 那覇市松尾 1-9-40 株式会社 東設計工房	T E L : 098-917-5000 F A X : 098-917-5001 E-mail : machi.h@azumas.com
崎 山 尚 志	〒 900-0023 那覇市楚辺 3-3-11 株式会社 泉設計	T E L : 098-832-1302 F A X : 098-855-6788 E-mail : n-sakiyama@izmarc.co.jp
山 下 晃 季	〒 905-0013 名護市城 1-7-11 山葉商会ビル 302 号 美音 SpaceDesign 株式会社	T E L : 098-054-4500 F A X : 098-054-4510 E-mail : kouki-y@bionsd.co.jp
宜 保 敦	〒 900-0021 那覇市泉崎 1-12-12 泉コーポ 1 F 有限会社 名工企画設計	T E L : 098-868-9491 F A X : 098-868-9493 E-mail : meikou.atushi@gmail.com
玉 城 勝 也	〒 903-0117 西原町字翁長 594 番地リッチプラザ ViVi2F Creative Team 情熱集団	T E L : 098-943-7886 F A X : 098-943-7839 E-mail : jounetsu@group-j0930.jp
比 嘉 裕 隆	〒 900-0023 那覇市楚辺 3-3-11 株式会社 泉設計	T E L : 098-832-1302 F A X : 098-855-6788 E-mail : h-higa@izmarc.co.jp
與那覇 勝 儀	〒 901-2204 宜野湾市上原 1-5-3 メゾン A 101 Studio GROOVE	T E L : 098-943-5811 F A X : 098-943-5882 E-mail : s-groove@honey.ocn.ne.jp

公益社団法人 日本建築家協会 (JIA) 沖縄支部 法人協力会員名簿 (2016年4月1日現在)

株式会社 かわ文明堂	〒 903-0104 西原町字兼久 66 番地 代表取締役社長 石川 京美	TEL : 098-835-8001 FAX : 098-835-8177 E-mail : s-toshio@ok-bunmeido.co.jp URL : http://www.kaiteki-office.com/
学校法人KBC学園グループ 専修学校 インターナショナルデザインアカデミー	〒 901-2131 浦添市牧港 1-60-14 学校長 前新 健	TEL : 098-942-6780 FAX : 098-942-6781 E-mail : miyuki@ida.ac.jp (大城) URL : http://www.ida.ac.jp/
株式会社 岡村製作所 沖縄支店	〒 900-0015 那覇市久茂地 2-22-10 那覇第一生命ビルディング 2 階 支店長 片岡 久人	TEL : 098-862-2121 FAX : 098-869-6400 E-mail : hisato_kataoka@okamura.co.jp
沖縄ガス株式会社	〒 900-8605 那覇市西 3-13-2 代表取締役社長 我那覇 力蔵	TEL : 098-863-7740 FAX : 098-862-0623 E-mail : nr.kudeken@okinawagas.co.jp URL : http://www.okinawagas.co.jp
AGC 沖縄硝子建材株式会社	〒 903-0103 西原町字小那覇 1323 代表取締役 藤本 勲	TEL : 098-944-2121 FAX : 098-944-2111 E-mail : teruo-tagawa@agc.com (田川) URL : http://www.e-mado.info/agcokinawa/
おきなわ建築 Web	〒 901-2133 浦添市城間 4-6-10-303 代表 新里 香代子	TEL : 098-963-7785 FAX : 098-963-7785 E-mail : mail@okinawa-kentikuweb.com URL : http://www.okinawa-kentikuweb.com/
沖縄三和シャッター株式会社	〒 901-0212 豊見城市字平良 84-1 代表取締役社長 尾上 裕昭	TEL : 098-840-5538 FAX : 098-840-5510 E-mail : chinent@sjp.sanwa-ss.co.jp URL : http://www.okinawa-sanwa.co.jp/
(資) 沖縄実業	〒 902-0067 那覇市安里 1-8-4 代表社員 宮里 幸雄	TEL : 098-867-0145 FAX : 098-866-4182 E-mail : kokuba@okijitsu.co.jp (国場) URL : http://www.okijitsu.co.jp/
沖縄電力株式会社 ソリューション営業部	〒 901-2602 浦添市牧港 5-2-1 ソリューション営業部長	TEL : 098-877-2341(3683) / FAX : 098-878-3842 E-mail : Kazzuya1_lrei@okiden.co.jp (伊礼) Tatsuhiko_Masutahara@okiden.co.jp (益田原) URL : http://www.kaeru.tv
株式会社 沖縄日立	〒 900-0003 那覇市安謝 230 番地 取締役社長 石塚 元	TEL : 098-869-8985 FAX : 098-988-4649 E-mail : Takaesu_Akihiko@hbs.co.jp (高江洲) URL : http://www.okinichi.co.jp
BX 沖縄文化シャッター株式会社	〒 901-0205 豊見城市根差部 667 代表取締役 下田 伸一	TEL : 098-850-6121 FAX : 098-850-6141 E-mail : m_makishi@okinawa.bunka-s.co.jp
沖縄三菱電機販売株式会社	〒 901-2223 宜野湾市大山 7-12-1 代表取締役社長 大野 和也	TEL : 098-898-1111 FAX : 098-898-0303 E-mail : Ono-kazuya@oki.mellife.co.jp Kawamitsu-Katsuya@oki.mellife.co.jp (川満 勝也) URL : http://okimitsu.co.jp/
沖縄菱電ビルシステム株式会社	〒 900-0015 久茂地セントラルビル 1F 代表取締役社長 荒殿 洋一	TEL : 098-866-1175 ・ 098-862-1194 (情報センター) E-mail : aratono.yohichi@okinawa-ryoden.co.jp URL : http://www.okinawa-ryoden.jp/
株式会社 ざまみダンボール	〒 901-0305 糸満市西崎町 4-7 代表取締役社長 座間味 勲	TEL : 098-992-1717 FAX : 098-992-0867 E-mail : i-zamami@zamami.co.jp s-uehara@zamami.co.jp URL : http://www.zamami.co.jp/
ダイキンHVACソリューション 沖縄株式会社	〒 901-0155 那覇市金城 5-3-4 代表取締役社長 岸本 直也	TEL : 098-859-4154 FAX : 098-859-4163 E-mail : naoya.kishimoto@daikin.co.jp susumu.moromizato@daikin.co.jp (諸見里) URL : http://www.daikin.co.jp/group/dkhuac-okinawa
デジタルスタジオ ガラパゴ	〒 901-2223 宜野湾市大山 1-12-26 代表 工藤 敏雄	TEL : 098-943-1492 FAX : 098-897-4707 E-mail : digitalstudio@garapago.jp URL : http://www.garapago.jp/
TOTO株式会社 沖縄営業所	〒 900-0004 那覇市銘苅 3-10-17 所長 井上 充	TEL : 098-868-0122 FAX : 098-868-3783 E-mail : 24a-okinawa@jp.toto.com URL : http://www.toto.co.jp/

南西原農園	〒 903-0804 那覇市首里石嶺町 4-135-1 代表取締役社長 下地 浩之	TEL : 098-886-3071 FAX : 098-886-3107 E-mail : nishara@nirai.ne.jp
比嘉工業㈱	〒 903-0103 西原町字小那覇 903 代表取締役社長 比嘉 広明	TEL : 098-945-4620 FAX : 098-946-2835 E-mail : info@higa-kogyo.jp URL : http://www.higa-kogyo.jp/
南PDT - duo	〒 903-0816 那覇市首里真和志町 2-17 代表取締役社長 金城 学	TEL : 098-885-8442 FAX : 098-885-8442 E-mail : info@pdt-duo.com URL : http://www.pdt-duo.com/
パナソニックリビング九州㈱ 沖縄支店	〒 901-2131 浦添市牧港 5-4-3 取締役副社長 兼 沖縄支店長 林 泰弘	TEL : 098-878-6363 FAX : 098-878-0818 E-mail : uezu.hiromi@jp.panasonic.com
福山商事㈱	〒 901-2556 浦添市牧港 4-14-17 代表取締役社長 福山 保	TEL : 098-876-5200 FAX : 098-876-5209 E-mail : soumu@fukuyamacorp.co.jp URL : http://www.fukuyamacorp.co.jp/
沖縄建築新聞	〒 900-0012 那覇市泊 3-5-6 代表取締役社長 古謝 昇	TEL : 098-867-1290 FAX : 098-867-1295 E-mail : admission@okitel.com URL : http://www.okitel.com/
㈱デザインアーク	〒 900-0006 那覇市おもろまち 4-11-25 大和ハウス沖縄支店1階 伊佐 礼乃	TEL : 098-860-9661 FAX : 098-860-9664 E-mail : a-isa@designarc.co.jp
㈱遠藤照明 沖縄営業所	〒 900-0012 那覇市泊 1-4-14 福琉ビル 1F 代表取締役社長 遠藤 邦彦 営業所代表 石本 孝利	TEL : 098-861-1450 FAX : 098-861-7781 E-mail : ooshiro@m1.endo-lighting.co.jp URL : http://www.endo-lighting.co.jp
㈱総合資格	〒 900-0015 那覇市久茂地 1-3-1 久茂地セントラルビル 6F 支店長 小川 一也	TEL : 098-866-8311 FAX : 098-866-8312 E-mail : ogawa-kazuya@shikaku.co.jp URL : http://www.shikaku.co.jp
南カーサ	〒 901-1115 南風原町字山川 449-7 取締役 大城 悟	TEL : 098-888-2904 FAX : 098-888-2904 E-mail : info@casa-style.jp URL : http://casa-style.jp
(資) 精印堂印刷	〒 902-0072 那覇市字真地 399-3 代表社員 瑞慶覧 長正	TEL : 098-832-1311 FAX : 098-832-8380 E-mail : aoki@seiindo.co.jp (青木) URL : http://www.seiindo.co.jp
㈱三誠	〒 900-0003 那覇市安謝 1-1-24 普久原ビル 202 営業所長 岡部 知一	TEL : 098-860-3700 FAX : 098-860-3750 E-mail : okabe.tomokazu@sansei-inc.co.jp URL : http://www.sansei-inc.co.jp
南モブ	〒 901-2126 浦添市字宮城 2-16-5 代表取締役 前花 栄蔵	TEL : 098-879-9611 FAX : 098-879-9318 E-mail : mov@nirai.ne.jp URL : http://www.mov.kitchen.com
沖縄東芝エレベータ株式会社	〒 900-0004 那覇市銘苅 180-7 朝忠第2ビル 2F 代表取締役社長 福本 勝幸	TEL : 098-866-5497 FAX : 098-862-4962 URL : tetuya.minamisawa@toshiba.co.jp (南澤)
㈱鹿島技研 IS ベース事業部	〒 820-0506 福岡県嘉麻市平山 753-5 代表取締役社長 原中 朋幸	TEL : 0948-62-2828 FAX : 0948-62-2877 E-mail : kajima-is@earth.ocn.ne.jp
東武トップツアーズ㈱沖縄支店	〒 900-0015 沖縄県那覇市久茂地 3-1-1 日本生命那覇ビル 2F 支店長 佐藤 真一	TEL : 098-868-8822 FAX : 098-868-8842 E-mail : hitomi_koba@tobutoptours.co.jp URL : http://www.tobutoptours.co.jp
エーアンドエー㈱	〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 2-3-11 代表取締役社長 川瀬 英一	TEL : 03-3518-0121 FAX : 03-3518-0122 E-mail : shiozawa.shigeyuki@aanda.co.jp sato.kazutaka@aanda.co.jp

IHのある 美しい家



セイカツをカエル。
オール電化

沖縄ガス ショールーム

沖縄ガス ショールーム

YOU-KURU

ゆ〜くる



1F▶ 展示スペース

- ガスコンロ展示スペース ●システムキッチンコーナー ●ウイズガスハウス ●比較・実演コーナー
- キッズスペース&授乳室 ●ミストサウナ体験コーナー ●「涼厨」ブース ●創エネ・省エネコーナー

2F▶

クッキングスタジオ・セミナー室・会議室

「広々スペースに最新の商品を随時展示中。
ガスのある快適な暮らしをご提案いたします！」

最新商品を実際に見て・触ってご体感いただけますので細かな部分までご確認いただけます。暮らしのアイデアがひらめく「ゆ〜くる」でごゆっくりお過ごしください。



ガスコンロ展示スペース



キッズスペース&授乳室

「ゆ〜くる」で学ぶ。
お料理教室やセミナーも！」

クッキングスタジオでは「お料理教室」を、セミナー室・会議室では随時セミナーを開催中。



沖縄ガス ショールーム

YOU-KURU

ゆ〜くる

開館時間：10:00～17:00 休日：年末年始・旧盆（ウ〜クイ）



「ゆ〜くる」へのお問合せはこちら

☎(098)863-7750 (ショールーム)

沖縄ガス

検索

ガスで節電!

ウイズガス 街に暮らしに ちゅらエネルギー
沖縄ガス

代表取締役社長 宮城 諒

沖縄県那覇市西3-13-2 TEL:098-863-7730

エレベーター工事

株式会社 沖縄日立

本社：沖縄県那覇市安謝230番地

TEL:098-869-8985 FAX:098-988-4649

開校2年目で達成!

重要なのは「今」の試験の合格実績

平成27年度 1級建築士 沖縄県合格者数No.1

沖縄県
合格者占有率

No.1

沖縄県 合格者占有率

53.3%

沖縄合格者30名中、当学院現役受講生**16名**

他講習
利用者
+
独学者

当学院
現役
受講生

※都道府県合格者数は、(公財)建築技術教育普及センターの発表によるものです。※総合資格学院の合格実績には、模擬試験のみの受験生、教材購入者、無料の役務提供者、過去受講生は一切含まれておりません。<平成27年12月17日現在>

平成28年度
目標 合格者
占有率

平成28年度もより多くの合格者を輩出できるよう、スタッフ一丸となってサポートします!

1級建築士試験

ストレート(伊+和)合格者占有率

95%

1級建築士試験

学科試験合格者占有率

90%

最低ライン
80%以上
※全国平均で
100%を目指す

2級建築士試験

ストレート(伊+和)合格者占有率

70%

2級建築士試験

学科試験合格者占有率

60%



総合資格学院

1級2級建築士/1級2級施工管理技士/宅地建物取引士
1級2級土木施工管理技士/建築設備士/インテリアコーディネーター
設備設計1級建築士/構造設計1級建築士/各種法定講習

沖縄校

TEL 098-866-8311

沖縄県那覇市久茂地1-3-1
久茂地セントラルビル6F



エレベーター・空調設備・ビルセキュリティ

沖縄菱電ビルシステム株式会社

〒900-0015 沖縄県那覇市久茂地1丁目3番1号（久茂地セントラルビル4F）

代表取締役社長 荒 殿 洋 一

TEL.098-866-1175 FAX.098-861-4648

PDT-duo, Ltd.

Panasonic

パナソニック リビング九州株式会社 沖縄支店



Digital Studio
GARAPAGO

I.D.A

学校法人 KBC 学園
専修学校 インターナショナルデザインアカデミー



金秀建設株式会社
KANEHIDE CONSTRUCTION CO.,LTD.


DesignArc

 Daiwa House Group

語り継がれる仕事を。
米元建設工業株式会社
YONEMOTO

ENDO
LIGHTING CORP.



企業の「要るもの」「要らないもの」を3S活動でお手伝い!
 **株式会社 いしかわ文明堂**

MOV
SYSTEM INTERIOR

収納計画 **CASA** 【カーサ】
ORDER KITCHEN & ORDER FURNITURE

 **株式会社 オキジム**

 三菱重工業(株)冷熱機器 沖縄県総代理店
株式会社 東洋設備

株式会社 **三 誠**
SANSEI INC.

 **PRESS (株)タイムス住宅新聞社**

 **株式会社 鹿島技研**

編 集 公益社団法人日本建築家協会沖縄支部
広報委員会
発 行 公益社団法人日本建築家協会沖縄支部
〒901-2101
沖縄県浦添市西原1丁目4番26号 沖縄建築会館内
TEL 098-943-8949
FAX 098-943-9727
発行人 當間 卓（支部長）
印 刷 合資会社 精印堂印刷
TEL 098-832-1311
発行日 2016年5月26日

